

令和4年度朝倉市  
まちづくり報告書  
(令和3年度実績)



令和5年2月  
朝 倉 市

# — 目 次 —

1	まちづくり報告書の基本的考え方.....	1
	(1) まちづくり報告書とは.....	1
	(2) 総合計画体系.....	1
	(3) 総合計画の進行管理.....	2
2	施策・基本事業評価の概要（令和3年度）.....	3
	(1) まちづくりの進捗状況（成果指標の推移）.....	3
	①施策の成果指標動向（29 施策 41 指標）.....	3
	②基本事業の成果指標動向（111 基本事業 243 指標）.....	3
	(2) 分野別のまちづくり動向（成果指標の推移）.....	4
	①施策の成果指標動向（29 施策 41 指標）.....	4
	②基本事業の成果指標動向（111 基本事業 243 指標）.....	4
	(3) 変化のあった基本事業の成果指標.....	6
	①基準年に対して順調に進んでいる基本事業の成果指標.....	6
	②基準年に対して不調となっている基本事業の成果指標.....	57
3	総合計画体系表.....	74

# 1 まちづくり報告書の基本的考え方

## (1) まちづくり報告書とは

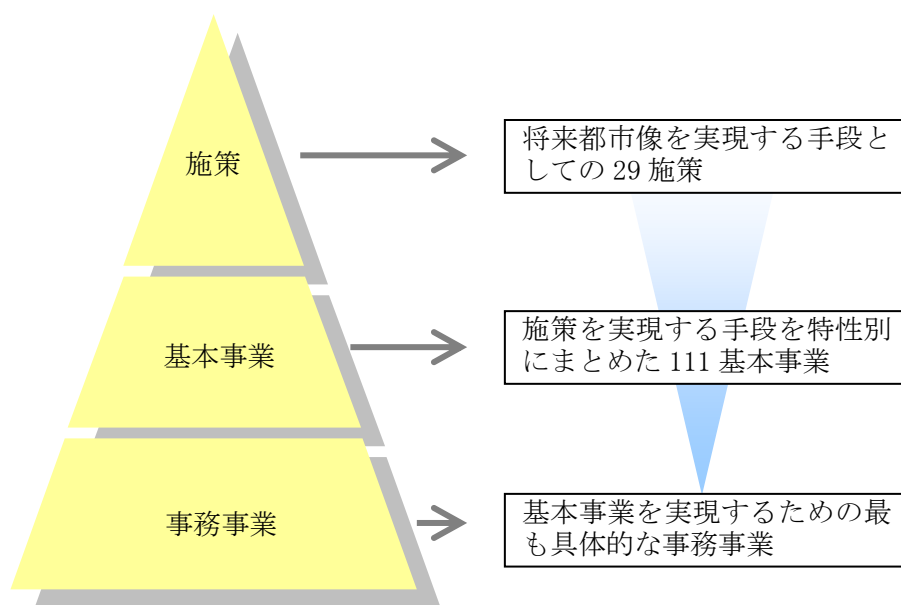
第2次朝倉市総合計画（2019～2022年度）は、平成31（2019）年3月に策定した朝倉市の進むべき方向と将来像を明確にしたまちづくりの指針となるものです。

本市では、全ての施策・基本事業のめざす姿を成果指標で設定し、定期的にその成果動向を把握することで、まちづくりがどの程度達成されたかを評価しています。

このまちづくり報告書は、全ての施策・基本事業のめざす姿を設定してから現在までのまちづくりの取り組み状況を市民の皆さんにお知らせするものです。

## (2) 総合計画体系

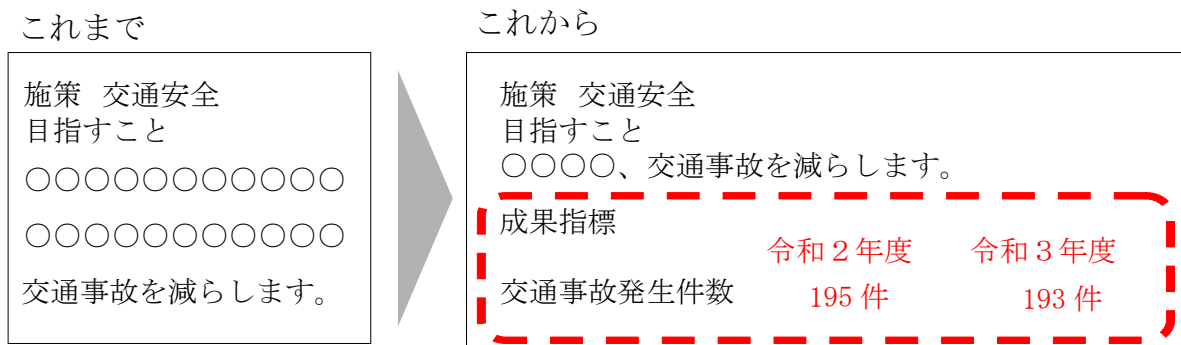
本市の普遍的な業務を、1 防災・減災、防犯、消費者保護 2 人権、協働、男女共同参画、コミュニティ 3 保健、福祉、医療 4 環境 5 農林業、商工業、観光 6 都市基盤（道路、交通、上下水道、住宅・住環境、景観、公園・緑化） 7 子育て、教育 8 生涯学習、スポーツ、歴史・文化 9 地方分権、行財政改革の9つの分野に分け、分野の下に29の施策、111の基本事業を掲げています。さらに基本事業を実現するための具体的手段として事務事業が位置づけられ、総合計画体系を構成します。



### (3) 総合計画の進行管理

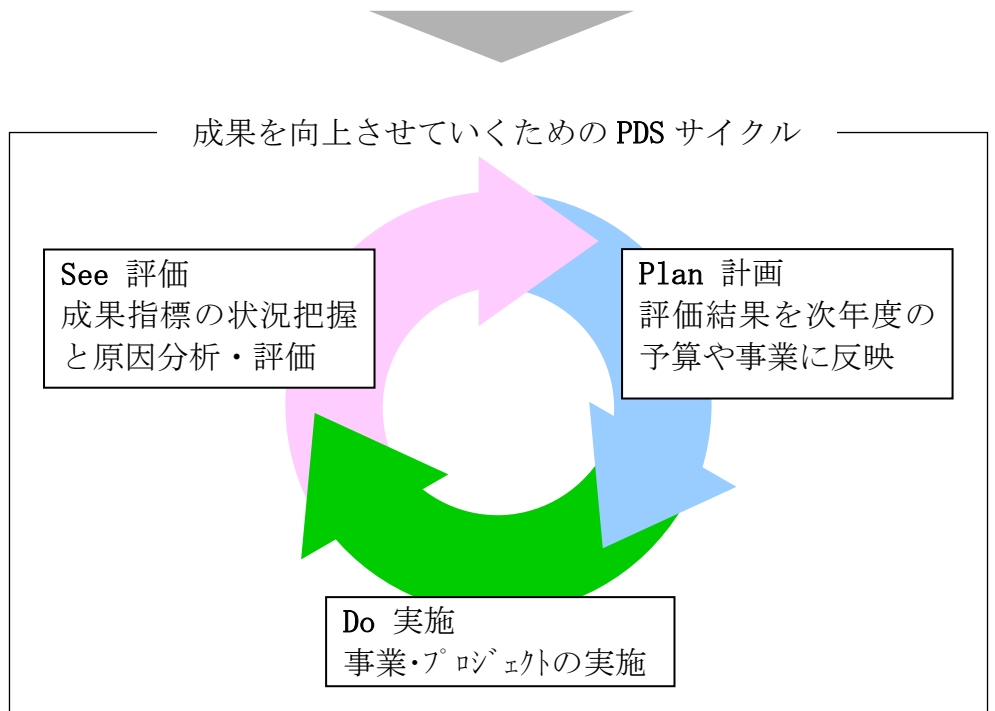
本市では、施策・基本事業に各分野のまちづくりのめざす姿の達成状況をあらわすモノサシとして成果指標を設定し、その数値の推移により評価を行っています。成果指標を設定し、まちづくりの成果が数値化されることによって、指標の動向や変動要因の分析などを行うことができるようになりました。

評価の結果は、市の意思決定の判断材料として活用し、計画の策定（Plan）、計画の実施（Do）、計画の評価（See）というPDSのマネジメントサイクルを構築するものです。



まちづくりの方向性を文書中心で記載している。

施策ごとに、何をめざすかを分かりやすい指標（モノサシ）で設定し、ねらいの明確化と進捗状況の評価を行い、まちづくりの達成状況を市民・職員で共有する。



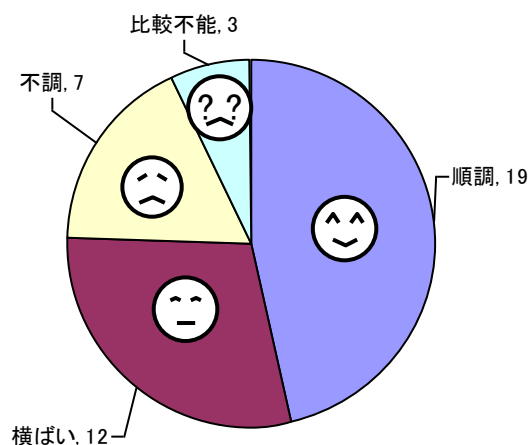
## 2 施策・基本事業評価の概要（令和3年度）

### （1）まちづくりの進捗状況（成果指標の推移）

朝倉市総合計画体系にあわせ、施策に設定した41の成果指標、基本事業に設定した243の成果指標を前年度と比較した令和3年度のまちづくり達成度は、以下のとおりとなっています。

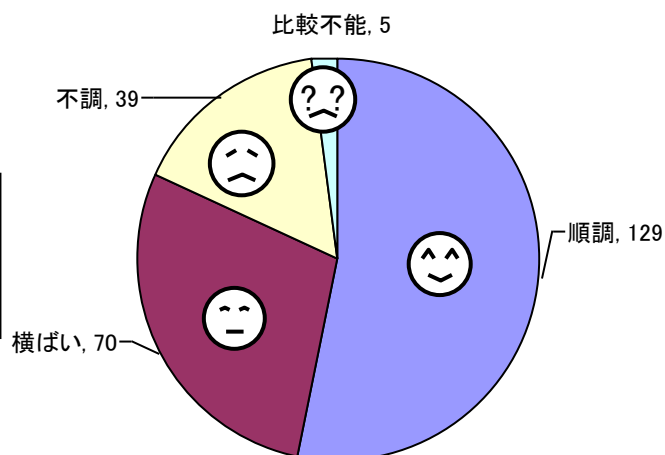
#### ① 施策の成果指標動向（29施策41指標）

29施策の成果として設定されている41の成果指標について、順調な成果をあげていると評価したもの（評価区分が◎もしくは○）が19指標（46.3%）、進展がなく、横ばいであったもの（評価区分が△）が12指標（29.3%）、順調に進んでいないもの（評価区分が×）が7指標（17.1%）、データが不足して比較ができないもの（評価区分が－）が3指標（7.3%）となっています。



#### ② 基本事業の成果指標動向（111基本事業243指標）

111基本事業の成果として設定されている243の成果指標について、順調な成果をあげていると評価したものが129指標（53.1%）、進展がなく、横ばいであったものが70指標（28.8%）、順調に進んでいないものが39指標（16.0%）、データが不足して比較ができないものが5指標（2.1%）となっています。



「比較不能」と表記のあるものは、現状値以外の指標値が取得できておらず、成果の向上や悪化の判断が客観的にできないものです。

(2) 分野別のまちづくり動向 (成果指標の推移)

① 施策の成果指標動向 (29 施策 41 指標)

分 野		成 果 指 標 動 向			
					比較不能
1	防災・減災、防犯、消費者保護	3	2	0	0
2	人権、協働、男女共同参画、コミュニティ	1	3	0	0
3	保健、福祉、医療	2	1	1	0
4	環境	3	0	2	0
5	農林業、商工業、観光	0	1	3	0
6	都市基盤(道路、交通、上下水道、住宅・住環境、景観、公園・緑化)	4	3	0	0
7	子育て、教育	2	0	0	3
8	生涯学習、スポーツ、歴史・文化	1	1	1	0
9	地方分権、行財政改革	3	1	0	0
合 計		19	12	7	3

② 基本事業の成果指標動向（111 基本事業 243 指標）

分野		成果指標動向			
					比較不能
1	防災・減災、防犯、消費者保護	7	10	4	0
2	人権、協働、男女共同参画、コミュニティ	6	3	5	0
3	保健、福祉、医療	20	9	4	0
4	環境	10	3	5	0
5	農林業、商工業、観光	22	7	5	2
6	都市基盤(道路、交通、上下水道、住宅・住環境、景観、公園・緑化)	22	14	0	1
7	子育て、教育	18	6	5	2
8	生涯学習、スポーツ、歴史・文化	4	10	10	0
9	地方分権、行財政改革	20	8	1	0
合計		129	70	39	5

(3) 変化のあった基本事業の成果指標

①基準年に対して順調に進んでいる基本事業の成果指標



行政評価体系コード：1-1-4 担当課：農林課

施策名：防災・減災対策の推進 基本事業名：災害発生防止の対策

基本事業の 目指す姿	土砂崩れ、浸水等による被害を防ぐための整備を推進しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
老朽化したため 池の改修工事に 着手した箇所数	2箇所	4箇所 (R3 0箇所)	5箇所 (R1~R4累計)
<p>○状況：令和3年度新たに改修工事に着手したため池はありませんでした。</p> <p>○原因：新たな着手箇所はありませんでしたが、年次計画通りに事業実施ができています。</p> <p>○主な事務事業：県営ため池等整備事業</p>			

行政評価体系コード：1-1-5 担当課：防災交通課

施策名：防災・減災対策の推進 基本事業名：市の防災体制の整備

基本事業の 目指す姿	災害時に市民の安全を確保するための行政の体制が整っています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
避難所の 耐震化率	97.4%	97.4%	95.0%
<p>○状況：前年度と変わらず、横ばいではありますが、公共施設の耐震化率は100%となっています。</p> <p>○原因：避難所の耐震化率が100%未満であるのは、民間施設の指定避難所が1箇所あり、当該民間施設の避難所については耐震化の予定がないためです。</p> <p>○主な事務事業：防災設備等整備事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
市の 備蓄食糧数	29,128食 27,383本	32,460食 30,746本	(食料)25,000食 (水)17,000本



- 状況：前年度と比較して、食料の備蓄数が 3,332 食、水の備蓄数が 3,363 本増加しました。
- 原因：食料については県の備蓄計画に基づく市町村の備蓄基準を達成できるように購入したためです。
- 主な事務事業：防災設備等整備事業

行政評価体系コード：1-2-1 担当課：防災交通課

施策名：交通安全・防犯対策の推進 基本事業名：交通安全意識の啓発

基本事業の 目指す姿	交通安全に対する知識を身につけ、交通安全に 気をつけています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
飲酒運転検挙件 数(朝倉署管内、 年)	24 件	13 件	0 件
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：前年度と比較して 11 件（約 46%）減少しています。</li> <li>○原因：飲酒運転撲滅運動等の啓発活動の成果と考えます。</li> <li>○主な事務事業：交通安全対策推進事業</li> </ul>			

行政評価体系コード：1-2-3 担当課：防災交通課

施策名：交通安全・防犯対策の推進 基本事業名：防犯対策の推進

基本事業の 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯設備が整備され、犯罪が起きにくい環境が整っています。</li> <li>・防犯意識を持ち、防犯活動が行われています。</li> </ul>		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
防犯灯等の設置 要望対応率	100%	100%	100%
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：前年度と同様、目標値を達成しています。</li> <li>○原因：防犯灯の設置要望に対して補助金を交付しています。蛍光灯からLEDへの更新が進んだことと、新型コロナウイルス感染症に関して地域での設置協議の場が減った影響で申請件数が減少したのではないかと考えられます。</li> <li>○主な事務事業：防犯灯設置補助事業</li> </ul>			

行政評価体系コード：1-2-4 担当課：総合政策課

施策名：交通安全・防犯対策の推進 基本事業名：未成年者の非行・犯罪防止

基本事業の 目指す姿	青少年がまちぐるみで健全に育成され、非行や犯罪が なくなっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
刑法犯罪少年の居 住地別検挙・補導件 数	11件	8件	5件
<p>○状況：前年度と比較して、3件減少していますが、目標値に達していません。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響等が考えられますが、青 パトやサポートタクシーによる地域の見守り活動の成果により、前年度よ り減少しています。</p> <p>○主な事務事業：青少年育成対策事業</p>			

行政評価体系コード：1-2-5 担当課：商工観光課

施策名：交通安全・防犯対策の推進 基本事業名：消費者保護の推進

基本事業の 目指す姿	安全・安心な消費生活をする事ができています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
消費者トラブルへ の対応策を知って いる市民の割合	84.4%	84.9%	90%
<p>○状況：消費者トラブルへの対応策を知っている市民の割合は、前回と比較して0.5 ポイント増加しました。目標値には達していませんが高い割合を維持して います。</p> <p>○原因：定期的に広報や街頭啓発などの周知活動や消費生活出前講座を実施してい るためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：消費者保護事業</p>			

行政評価体系コード：2-3-3 担当課：ふるさと課

施策名：市民協働のまちづくり 基本事業名：協働によるまちづくり意識の醸成

基本事業の 目指す姿	市民、行政が協働のまちづくりの重要性を理解し、それぞれの役割を担っていきます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
協働によるまちづくりの重要性を理解している市民の割合	82.0%	86.3%	90.0%
<p>○状況：前回と比較して、4.3ポイント増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：提案公募型協働事業、ふるさとづくり地域活動支援事業等により、人口減少時代におけるまちづくり、災害からの復旧・復興などにおける協働の重要性を認識される方が増加したためだと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：提案公募型協働事業、ふるさとづくり地域活動支援事業</p>			

行政評価体系コード：2-4-1 担当課：福祉事務所

施策名：地域福祉の推進 基本事業名：地域福祉活動の推進

基本事業の 目指す姿	地域福祉を担う人材の育成等により充実した地域福祉活動が行われています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
福祉調査委員の数	155人	154人	155人
<p>○状況：3月末時点では、1人減少していますが、順調に推移しています。</p> <p>○原因：1人欠員となっていますが、速やかに次の委員の選定を行っているため順調に推移しています。</p> <p>○主な事務事業：民生委員・児童委員活動支援事業</p>			

行政評価体系コード：2-5-1 担当課：人権・同和対策課

施策名：人権が尊重されたまちづくり 基本事業名：教育・啓発の推進

基本事業の 目指す姿	講演会、各種研修会、出前講座等を通じて、人権を尊重する学習機会を提供し、人権について学ぶ市民が増加しています。
---------------	---

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
人権問題を学んだ のべ市民数	783 人	1,240 人	2,600 人
<p>○状況：前年度と比較して、457 人増加しましたが、目標値に対しては低調です。なお、参加人数の内訳は同和問題啓発強調月間講演会 565 人、人権を考える朝倉市民のつどい講演会 266 人、みんなの人権セミナー341 人、出前講座 68 人です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、朝倉地区人権・同和教育研究会と人権セミナー3 回(全8 回)は中止しましたが、出前講座の件数が増加したこと、同和問題啓発強調月間講演会をオンラインで開催したことが増加の原因です。</p> <p>○主な事務事業：人権セミナー講演事業、同和問題啓発強調月間事業 人権週間事業、人権・同和教育啓発事業</p>			

行政評価体系コード：2-5-2 担当課：総合政策課、子ども未来課、人権・同和対策課  
施策名：人権が尊重されたまちづくり

基本事業名：人権・同和問題に関する相談・支援体制の充実

基本事業の 目指す姿	同和問題をはじめとする様々な人権侵害・人権問題について相談業務を行うことにより、市民が安心して暮らしています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
DV に関する措置 件数	1 件	1 件	0 件
<p>○状況：昨年度と同じく1 件で、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：男女共同参画センターや関係機関の対応により被害を未然に防いでいるものと思われます。</p> <p>○主な事務事業：母子生活支援施設措置事業、男女共同参画相談業務</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
人権全般に関する 相談件数	19 件	5 件	5 件

○状況：令和3年度に人権・同和対策課で受けた相談件数は、継続3件、新規2件の5件あり、前年度から14件減少し、目標値を達成しました。
○原因：相談件数は、令和元年度から増加傾向にありましたが、昨年は、平成30年度並みに減少しました。相談件数が減少した原因の特定は困難ですが、コロナ感染に関する相談件数が減少しています。
○主な事務事業：人権セミナー講演事業、同和問題啓発強調月間事業 人権週間事業、同和対策庶務事務、人権・同和教育啓発事業

行政評価体系コード：2-5-3 担当課：総合政策課

施策名：人権が尊重されたまちづくり 基本事業名：男女共同参画の推進

基本事業の 目指す姿	あらゆる分野において、性別にかかわらず、個性や能力を発揮する機会や学習の場に参画できる人が増えています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識の解消に共感する男性割合、女性割合	男性 79.1% 女性 82.1%	男性 77.0% 女性 87.0%	男性 80.0% 女性 85.0%
○状況：全ての年代で「そう思わない」が最も多く、前回より女性の共感する割合は上昇していますが、男性は低調です。			
○原因：地域や家庭内の性別による固定的役割分担意識について、R2.9.25～R2.10.9に実施した市民意識調査報告書によると、共働きの世帯の多い若い世代から少しずつ改善されてきていると推測されます。			
○主な事務事業：男女共同参画推進事業			

行政評価体系コード：3-6-1 担当課：健康課

施策名：健康づくりの推進 基本事業名：生活習慣の改善

基本事業の 目指す姿	生活習慣の改善のためにより生活習慣を実践している人が増えています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
健康によい生活習慣の市民平均実践項目数	3.49項目	3.70項目	4項目

○状況：：前回と比較して、0.21項目増加し、目標値に対して順調です。

○原因：ライフスタイルに応じた健康づくりの推進、健康に良い生活習慣について、出前講座や住民健診等、様々な事業を通じて啓発及び支援の取り組みを行っており、健康意識を向上させ、生活習慣改善の実践に徐々に結びついていると考えます。

○主な事務事業：地域健康づくり活動支援事業、健康相談事業、地域支援事業  
 家庭訪問保健指導事業、健康教育事業、精神保健事業  
 基本健康診査事業、がん検診事業、母子健康教育事業  
 特定健康診査事業、特定保健指導事業、国保健康づくり事業

行政評価体系コード：3-6-2 担当課：健康課

施策名：健康づくりの推進 基本事業名：疾病の予防と健康管理

基本事業の 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に検診を受診し、自分の健康管理を行う人が増えています。</li> <li>・予防接種による感染症の予防ができています。</li> </ul>		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
毎年健康診断を受診する人の割合	70.1%	72.7%	70.0%

○状況：前回より2.6ポイント増加し、目標値に達成しています。

○原因：継続して、がん検診総合支援事業(無料クーポン券)や特定健診無料クーポン券配付等を実施し、幅広い世代に健康診断を毎年受診するように啓発している効果が出ていると考えます。

○主な事務事業：基本健康診査事業、がん検診事業、特定健康診査事業

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
特定健診で特定保健指導を受けている人の割合(朝倉市国民健康保険加入者)	55.8%	56.4%	60.0%

○状況：前年度と比較して0.6ポイント増加し、目標値に対して順調です。

○原因：令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、対面での保健指導を敬遠される対象が増加し保健指導実施率が落ち込んでいましたが、令和3年度は電話による保健指導利用勧奨を強化したため、実施率向上に繋がったと考えます。

○主な事務事業：基本健康診査事業、がん検診事業、特定健康診査事業

行政評価体系コード：3-7-1 担当課：介護サービス課

施策名：高齢者福祉の推進 基本事業名：健康・介護予防の推進

基本事業の 目指す姿	高齢者が健康状態を認識し、維持できるための取組や介護予防支援を行い、自立した生活ができています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
新規介護保険 認定者数	790人	784人	920人
<p>○状況：前年度と比較して、6名減少しており、目標値の範囲内です。</p> <p>○原因：昨年度に引き続き、高齢者に関するきめ細やかな支援や65歳以上のすべての方の介護予防を目的として平成28年に開始した介護予防・日常生活支援総合事業（通所サービスB、C、地域ミニデイサービスなど）及びフレイル予防や重症化予防を目的に令和2年に開始した高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業の取組みの効果だと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：認定審査事務、介護予防・日常生活支援総合事業 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業</p>			

行政評価体系コード：3-7-2 担当課：介護サービス課

施策名：高齢者福祉の推進 基本事業名：介護サービス・日常生活支援の充実

基本事業の 目指す姿	支援や介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で生活できるよう、適切な日常生活支援のサービスを受けられています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
介護認定および介護サービスに関する苦情件数	2件	1件	5件
<p>○状況：前年度と比較して、1件減少しており、目標値の範囲内です。</p> <p>○原因：認定、サービス、訪問調査に関する問い合わせは多数ありますが、その都度、納得されるまで説明していますので苦情は減少しています。また、相談機関は多岐にわたるため、他の相談機関（地域包括支援センターやケアマネジャー、病院のソーシャルワーカー）へ相談されたケースもあると考えられます。</p> <p>○主な事務事業：適正化事業</p>			

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
要介護4及び要介護5の方の施設入所割合	64.0%	63.3%	63.0%
<p>○状況：前年度と比較して、0.7ポイント減少しましたが、目標値に達しています。</p> <p>○原因：介護保険施設（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院）のうち、特別養護老人ホームの新規入所者については、平成27年度より要介護3以上に限定されたためです。</p> <p>○主な事務事業：適正化事業</p>			

行政評価体系コード：3-7-4 担当課：介護サービス課

施策名：高齢者福祉の推進 基本事業名：安心・安全な生活への仕組みづくり

基本事業の目指す姿	必要なときに相談でき、支援を受けられ、安全・安心に暮らすことができます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
気軽に相談先がある高齢者の割合	85.9%	85.9%	86.0%
<p>○状況：前回の調査と比較して、相談相手がいると回答した人の割合は変わりません。</p> <p>○原因：相談相手で最も多いのは家族、次いで友人・知人・隣近所となっており、気軽な相談相手がいるものと考えます。</p> <p>○主な事務事業：高齢者総合相談事業</p>			
高齢者の相談件数 (地域包括センター相談件数+民生委員相談件数)	6,845人	7,722人	5,600人
<p>○状況：前年度と比較して、877件増加し、目標値に達成しています。</p> <p>○原因：地域包括支援センターは、高齢者の相談窓口として介護保険に関することをはじめとし、様々な相談を受けています。令和3年度は、コロナ禍の緊急事態宣言期間中の電話でのやり取りや継続支援が増加したことによる件数の増加が主な原因です。民生委員の相談件数は前年度とほぼ横ばいです。</p> <p>○主な事務事業：高齢者総合相談事業</p>			



行政評価体系コード：3-8-2 担当課：福祉事務所

施策名：障がい者福祉の推進 基本事業名：地域生活支援の基盤づくり

基本事業の 目指す姿	障がい者が生活支援を受け、生活が改善されるとともに、経済的負担が軽減されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
自立支援医療による助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数	272人	274人	300人
<p>○状況：前年度と比較して、2人増加し、目標値に対して順調に増加しています。</p> <p>○原因：広報で制度について周知を図っています。令和3年度実績値の内訳は、更生医療262人で前年度より増減なし、育成医療12人で前年度より2人増加となっています。育成医療は通院が増加しています。</p> <p>○主な事務事業：自立支援医療給付事業</p>			

行政評価体系コード：3-8-3 担当課：福祉事務所

施策名：障がい者福祉の推進 基本事業名：社会参加の促進と就労支援

基本事業の 目指す姿	行動範囲が広がり、社会参加や生きがいを持った生活ができています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
自立支援給付の利用者数（訓練等給付）	3,098人	3,385人	3,100人
<p>○状況：前年度と比較して、287人増加し、目標値に達しています。</p> <p>○原因：身体障害者手帳等を取得された際に、「障がい者福祉のしおり」を用いて障がい福祉サービスの制度を案内し周知を図っています。また、圏域で就労継続支援の事業所が増加したことでサービスが受けやすくなったものです。朝倉市・筑前町・東峰村が共同で設置している「朝倉地区障害者等自立支援協議会」では、就労体験会なども行っています。</p> <p>このような取り組みが、サービス利用者の増加につながったと考えます。</p> <p>○主な事務事業：障がい福祉サービス事業</p>			

音声・言語・聴覚障がいの手話通訳者派遣回数	38回	94回	50回
<p>○状況：前年度と比較して、56回増加し、目標値に達しています。</p> <p>○原因：今年度は新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種での派遣申請が増加したためです。</p> <p>○主な事務事業：地域生活支援事業内の意思疎通支援事業</p>			

行政評価体系コード：3-8-4 担当課：福祉事務所

施策名：障がい者福祉の推進 基本事業名：療育サービスの充実

基本事業の目指す姿	療育サービスが充実しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
児童発達支援及び放課後等デイサービスの利用者数	1,344人	1,513人	1,300人
<p>○状況：前年度と比較して、169人増加し、目標値に達しています。</p> <p>○原因：制度について、市報での周知を行っています。また、子ども未来課とも連携し、必要な方へのサービス利用に繋いでいることで、利用希望者が増えていくことに加え、圏域で事業所が増加したことによりサービス提供体制の整備が図られていることが利用者の増加の要因となっています。</p> <p>○主な事務事業：障がい福祉サービス事業</p>			

行政評価体系コード：3-8-5 担当課：福祉事務所、建設課

施策名：障がい者福祉の推進 基本事業名：バリアフリーの推進

基本事業の目指す姿	道路、公共施設等のバリアフリー化を推進し、市民が安心して生活しやすいまちになっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市街地の生活道における段差の解消や視覚障がい者用誘導施設の整備延長	14.6km (R2:0km)	14.6km (R3:0km)	14.5km (累計)

- 状況：前年度と比較して、横ばいで、目標値に達しています。
- 原因：D I D区域内での事業が現在実施されていないためです。  
※DID：人口集中地区のことで国勢調査において設定される統計上の地区です。
- 主な事務事業：交通安全施設整備事業、社会資本整備総合交付金事業

行政評価体系コード：3-9-1 担当課：保険年金課

施策名：社会保障の適正な運営 基本事業名：国民健康保険制度の適正な運営

基本事業の 目指す姿	社会保障における保険制度の理解と適正な負担を求め、重複受診の抑制や後発医薬品の使用促進により医療費の適正化を進め、保険制度が適正に運用されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
国民健康保険税 収納率 (現年度分)	96.06%	96.2%	96.0%
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：前年度と同様、高い水準で推移し、目標値を達成しています。</li> <li>○原因：保険証更新時の納税相談の他、各種異動や給付申請時等、対象者と接触の機会を納税相談に繋げ、自主納付を促したためです。 収納対策課と連携し、電話催告や訪問催告に積極的に取り組みました。</li> <li>○主な事務事業：賦課徴収事務</li> </ul>			

行政評価体系コード：3-9-2 担当課：保険年金課

施策名：社会保障の適正な運営 基本事業名：後期高齢者保険制度の適正な運営

基本事業の 目指す姿	社会保障における保険制度の理解と適正な負担を求め、被保険者の健康管理による医療費の適正化を進め、保険制度が適正に運用されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
後期高齢者医療保 険料収納率 (現年度分)	99.95% 県平均 99.49%	99.89% 県平均 99.51%	99.80%

○状況：前年度と比較して0.06ポイント減少していますが、目標値に達しています。  
 ○原因：保険料の納付方法では、特別徴収（年金天引き）が全体の約8割を占め確実な納付につながっています。また普通徴収（口座振替や納付書払い）では、未納者に対し、文書や電話催告または訪問催告を行い目標値には達していますが、後期高齢者医療の新規加入者の増加と併せて、新規滞納者が増えたことから収納率が低下していると考えられます。  
 ○主な事務事業：後期高齢者医療事務

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
一人あたりの医療費	118万円	119万円	125万円

○状況：前年度と比較して0.55ポイント増加しましたが、横ばいです。  
 ○原因：一人あたりの医療費は、前年度と比較して、歯科は12.94ポイント、その他（訪問看護等）は16.86ポイント増加していますが、医療費の95.66%を占める医科が横ばい（0.02ポイント増加）だったため、全体として横ばいとなっています。  
 ○主な事務事業：後期高齢者医療事務  
 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

行政評価体系コード：3-9-3 担当課：介護サービス課

施策名：社会保障の適正な運営 基本事業名：介護保険制度の適正な運営

基本事業の目指す姿	介護保険の適正運営のために財源を確保し、適正な給付が行われています。		
-----------	------------------------------------	--	--

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
介護保険料収納率(現年度分)	99.45%	99.52%	99.20%

○状況：前年度と比較して、0.07ポイント増加し、目標値に達しています。  
 ○原因：適宜未納者に対して催告を行ったこと、および現年度未納者に対して令和4年1月以降滞納繰越を削減する目的で重点的に催告を行ったことが収納率の増加につながったものと考えられます。  
 ○主な事務事業：賦課徴収事務

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
一人あたりの給付金額 (第1号被保険者)	290,976円	293,098円	336,000円
<p>○状況：前年度と比較して、2,122円増加しましたが、目標値の範囲内です。</p> <p>○原因：令和3年4月の報酬改定により、各サービスの給付費が増加したため、一人あたりの給付金額が増加したものと考えられます。一方で、令和3年8月からの制度改正に伴い一部の給付費が減少したことと、適正化事業の効果により、給付費が抑えられていると考えられます。</p> <p>○主な事務事業：適正化事業 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
介護保険認定率	17.71%	17.35%	24.00%
<p>○状況：前年度と比較して、0.36ポイント減少しており、目標値の範囲内です。</p> <p>○原因：高齢者の保険事業と介護予防等の一体的な実施事業や介護予防・日常生活支援総合事業（通所サービスB、C、地域ミニデイサービスなど）の取り組みの効果により計画内で推移しています。</p> <p>○主な事務事業：認定審査事務、介護予防・日常生活支援総合事業 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業</p>			

行政評価体系コード：3-9-4 担当課：福祉事務所

施策名：社会保障の適正な運営 基本事業名：生活保護（世帯）への自立支援

基本事業の 目指す姿	最低限度の生活保障が行われるとともに、就労支援により生活保護者（世帯）の自立が促進されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
保護率（単位％）	0.85% 国（1.64%） 県（2.38%）	0.86% 国（1.62%） 県（2.34%）	0.87%

- 状況：前年度と比較して、0.01ポイント増加していますが、目標値に達していません。令和4年3月末での保護率は、福岡県内26市中低い方から4番目です。
- 原因：生活保護法に基づく収入調査や扶養義務調査を行い、適正な生活保護を実施するとともに、生活保護受給者に対する就労指導等により自立可能な世帯への支援を実施しているためだと考えられます。  
しかし、生活保護世帯の内、高齢世帯が65%を占めているため、今後は自立支援が難しくなる見通しです。
- 主な事務事業：生活保護適正化事務

行政評価体系コード：4-10-1 担当課：環境課

施策名：低炭素社会の構築 基本事業名：地球温暖化対策の推進

基本事業の 目指す姿	市民や事業者が地球環境にやさしい生活を送ることによって環境負荷が抑えられています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
省エネに取り組んでいる事業所の数	53箇所	52箇所	50箇所
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：前年度と比較して1箇所減少しましたが、目標値に達しています。</li> <li>○原因：新規登録が1箇所あったものの、2箇所の事業所が閉鎖に伴い、登録が取り消されたためです。</li> <li>○主な事務事業：その他環境啓発事業</li> </ul>			

行政評価体系コード：4-11-1 担当課：環境課

施策名：循環型社会の構築 基本事業名：ごみ減量の推進

基本事業の 目指す姿	市民、事業者による廃棄物の発生が抑制されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
家庭系のごみ量	11,300t	11,034t	10,000t

○状況：前年度と比較して、266トン減少し、目標値に対して順調です。令和3年度の家庭系の1人当たりのごみ排出量は、サン・ポート構成市町村平均が627g/日、朝倉市平均は580g/日です。これは、サン・ポート構成市町村5団体のうち2番目に少ない排出量となっています。

○原因：過去の数値から家庭におけるごみ減量の意識は向上していると考えられます。

○主な事務事業：家庭系可燃ごみ収集運搬事業、家庭系資源ごみ収集運搬事業  
家庭系粗大ごみ収集運搬事業、古紙等回収補助事業

行政評価体系コード：4-11-2 担当課：環境課

施策名：循環型社会の構築 基本事業名：ごみの適正処理とリサイクルの推進

基本事業の 目指す姿	ごみが適正に処理されています。 ごみの分別やリサイクルに取り組んでいます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
ごみ収集時に発生 した火災等の事故 件数	0件	0件	0件
<p>○状況：前年度と同じく火災等の事故については、発生しておらず、目標値に達しています。</p> <p>○原因：スプレー缶の穴あけ及びリチウムイオン電池の分別等、市民の間で発生防止対策が浸透しているためと推測されます。</p> <p>○主な事務事業：家庭系可燃ごみ収集運搬事業 家庭系資源ごみ収集運搬事業 家庭系粗大ごみ収集運搬事業</p>			

行政評価体系コード：4-11-3 担当課：環境課

施策名：循環型社会の構築 基本事業名：し尿の適正処理とリサイクルの推進

基本事業の 目指す姿	し尿・浄化槽汚泥等が安全で適切に処理されています。
---------------	---------------------------

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
汚泥再生処理施設で受け入れたし尿等の再資源化率	100%	100%	100%
<p>○状況：前年度と同じく搬入された汚泥し尿を生産量に応じて堆肥化し販売することができ、目標値に達しています。</p> <p>○原因：汚泥し尿搬入から堆肥の製造に至るまで適切な施設の運営ができているからと推測されます。</p> <p>○主な事務事業：汚泥再生処理センター管理事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
汚泥再生処理施設処理水における検査の異常値項目数	0件	0件	0件
<p>○状況：令和3年度は異常値となった項目はなく、目標値に達しています。</p> <p>○原因：汚泥再生処理施設の適切な運営ができているからと推測されます。</p> <p>○主な事務事業：汚泥再生処理センター管理事業</p>			

行政評価体系コード：4-11-4 担当課：環境課

施策名：循環型社会の構築 基本事業名：ごみの不適正処理の抑制

基本事業の目指す姿	ごみの不適正処理が早期発見されるとともに未然に防止されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
不法投棄物発見件数	30件	37件	25件
<p>○状況：市で対応した件数は、前年度と比較して7件増加し、目標値に達していません。</p> <p>○原因：広報による啓発活動を行っていますが、環境美化推進員20名によるパトロールや地域住民活動により不法投棄発見件数が増加しています。</p> <p>○主な事務事業：環境パトロール事業</p>			



成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
野焼き件数	53件	40件	30件
<p>○状況：市で対応した全ての野焼き件数は40件で、前年度と比較して、13件減少です。</p> <p>○原因：市報等での啓発により、市民への意識付けが行われたものと思われます。</p> <p>○主な事務事業：その他環境啓発事業</p>			

行政評価体系コード：4-13-1 担当課：環境課

施策名：快適な生活環境の確保 基本事業名：環境美化運動の推進

基本事業の 目指す姿	市民が主体となった環境美化運動が推進されることにより、ごみの無いまちになっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
朝倉市はごみの少ないまちだと思ふ市民の割合	73.6%	75.5%	80%
<p>○状況：前回と比較して、1.9ポイント増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：継続した環境美化活動や広報等によるマナーアップによるものと推測されます。</p> <p>○主な事務事業：環境パトロール事業</p>			

行政評価体系コード：4-13-2 担当課：環境課

施策名：快適な生活環境の確保 基本事業名：事業系公害対策の推進

基本事業の 目指す姿	事業者が法令に沿って各種の基準を順守され、公害の発生が防止されます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
事業系公害に対する苦情件数	24件	21件	25件

○状況：前年度と比較して、4件減少し、目標値に対して順調です。  
 ○原因：事業系苦情の内容・件数については、年度によりばらつきがありますが、重篤な公害や悪質なものは減少傾向にあります。  
 ○主な事務事業：事業系公害対応事業

行政評価体系コード：4-13-3 担当課：環境課

施策名：快適な生活環境の確保 基本事業名：家庭系公害対策の推進

基本事業の 目指す姿	家庭からの騒音、ペットの飼い方などの生活環境の保全に対する意識が高まり、暮らしやすい環境になっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
家庭系公害に対する苦情件数	62件	50件	40件
<p>○状況：前年度と比較して、12件減少です。          ○原因：家庭系公害に対する苦情の約半分を占める野焼きについて、野焼き禁止の周知を行ったことによるものと推測されます。          ○主な事務事業：その他環境啓発事業</p>			

行政評価体系コード：5-14-1 担当課：農業振興課

施策名：農林業の振興 基本事業名：安全・安心な食の生産

基本事業の 目指す姿	環境にやさしく、安全で多彩な農産物を身近に手に入れることができます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
地元農産物等の学校利用率	34.7%	37.9%	40.0%
<p>○状況：前年度と比較して、3.2ポイント増加し、目標値に対して順調です。          ○原因：納入業者の協力を得て、地元農産物の利用を促進したためです。          ○主な事務事業：食と農推進計画事務</p>			

行政評価体系コード：5-14-2 担当課：農業振興課

施策名：農林業の振興 基本事業名：地域農林業を支える多彩な担い手の育成・確保

基本事業の 目指す姿	認定農業者、認定新規就農者等の中核的な担い手や林業後継者が育成・確保されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
担い手数	391 経営体	392 経営体	390 経営体
<p>○状況：前年度と比較して1件増加しており、目標値に到達しています。</p> <p>○原因：認定農業者が1名減少したものの認定新規就農者が2名増加したためです。</p> <p>○主な事務事業：新規就農支援対策事業、新規就農総合支援事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
担い手の農地利用 集積率(田・畑)	41.5%	41.8%	39.7%
<p>○状況：前年度と比較して0.3%増加しており、目標値に達しています。</p> <p>○原因：農業者の高齢化に伴い、手放した農地を集積し、規模拡大した担い手が増加したためです。</p> <p>○主な事務事業：新規就農支援対策事業、新規就農総合支援事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
担い手育成団体 (林研)の会員人数	27名	29名	45名
<p>○状況：前年度と比較して、2名増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：講習会や研修会への参加を通じて、団体への入会が増加したためです。</p> <p>○主な事務事業：林業従事者育成事業</p>			

行政評価体系コード：5-14-4 担当課：農業振興課

施策名：農林業の振興 基本事業名：多様な農産物の生産による農業の振興

基本事業の 目指す姿	消費者ニーズや地域の自然条件を活かした多様な農産物が生産されています。
---------------	-------------------------------------

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
米(米粉用・飼料用米含)の作付面積	1,646ha	1,673.5ha	1,850ha
<p>○状況：前年度と比較して、27.5ha増加しており、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：平成29年7月九州北部豪雨による被災農地の復旧により、米の作付面積が増加したためです。</p> <p>○主な事務事業：経営所得安定対策</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
麦・大豆の作付面積	2,008.8ha	1,984.1ha	1,975ha
<p>○状況：前年度と比較して、24.7ha減少しましたが、目標値には達しています。</p> <p>○原因：麦については、平成29年7月九州北部豪雨による被災農地等の復旧が進んだことで、作付面積が増加しました。大豆については、圃場のブロックローテーションにより作付面積が減少したためです。</p> <p>○主な事務事業：経営所得安定対策</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
野菜の作付面積	428.4ha	435.1ha	600ha
<p>○状況：前年度と比較して6.7ha増加しましたが、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：当初大豆を作付けしていた方が、8月の大雨により圃場が浸水したため、野菜作付けへ変更したためです。</p> <p>○主な事務事業：経営所得安定対策</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
果樹の作付面積	317.3ha	303.2ha	300ha
<p>○状況：前年度と比較して、14.1ha減少しましたが、目標値に達しています。</p> <p>○原因：新規植栽による面積拡大はあるものの、高齢化や急傾斜等で栽培条件が不利な樹園地の廃業に伴い減少したためです。</p> <p>○主な事務事業：果樹経営支援対策事業、活力ある高収益型園芸産地育成事業</p>			

行政評価体系コード：5-14-6 担当課：農業振興課

施策名：農林業の振興 基本事業名：魅力ある新たな朝倉ブランドの開発

基本事業の 目指す姿	新たな農産物の産地化や付加価値の高い6次化商品の開発により、朝倉ブランドの魅力が高まっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
産地化された農産物数	3件	3件	3件
<p>○状況：前年度と比較して、横ばいですが、目標値に達しています。</p> <p>○原因：トップシェア(柿、万能ねぎ)産地を維持する取組として、秋王などの新品種の導入や「甘柿+万能ねぎ」等の高収益作物との組み合わせによる複合経営を推進したためです。</p> <p>○主な事務事業：果樹経営支援対策事業 活力ある高収益型園芸産地育成事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
特産品・新商品開発 支援件数	5件 (R2:2件)	9件 (R3:4件)	10件 (累計)
<p>○状況：前年度と比較して2件増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：漬物用洗浄設備、ドライいちご用保冷庫、高菜漬けのパッケージデザイン、黒ニンニク用保冷庫の導入支援を行なったためです。</p> <p>○主な事務事業：特産物育成事業</p>			

行政評価体系コード：5-14-8 担当課：農林課

施策名：農林業の振興 基本事業名：農林業基盤の整備

基本事業の 目指す姿	農業基盤が整備され、生産性が向上しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
農業用水路の改修 延長	487.8m (R2:160m)	670.5m (R3:182.7m)	1,010m (R1~R4累計)

<p>○状況：農業用水路改修工事を行いました。 日向石 L=168.2m 秋月野鳥 L=14.5m</p> <p>○原因：老朽化した市内の水路等の整備を計画通りに実施しています。</p> <p>○主な事務事業：農村環境整備事業、土地改良事業（単独）</p>
--

行政評価体系コード：5-14-9 担当課：農業振興課

施策名：農林業の振興 基本事業名：消費者との交流による農村地域の活性化

基本事業の 目指す姿	グリーンツーリズムの実施や食育の推進、直売所の魅力アップ等より農業への理解や地域の活性化が進んでいます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
グリーンツーリズム受入実績	278人	693人	1,140人
<p>○状況：前年度と比較して、415人増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：教育旅行が2校、被災地見学が4回増え、また協力隊がイベントを2回実施したためです。</p> <p>○主な事務事業：グリーンツーリズム推進事業</p>			

行政評価体系コード：5-14-10 担当課：農林課

施策名：農林業の振興 基本事業名：林業の振興

基本事業の 目指す姿	森林整備等を助成することで、森林林業全般の進行が図られています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
森林の整備面積 (単年度)	199.90ha	217.03ha	200ha
<p>○状況：前年度と比較して、17.13ha増加し、目標値を達成しています。</p> <p>○原因：国縣市道や林道等の復旧が進んだことで森林整備事業の事業対象地が増加し、事業実施することができたためです。</p> <p>○主な事務事業：森林整備補助事業、寺内ダム水源林整備事業 江川ダム水源林整備事業、市営林整備事業、荒廃森林整備事業</p>			

行政評価体系コード：5-15-1 担当課：商工観光課

施策名：商工業の振興 基本事業名：経営安定の支援

基本事業の 目指す姿	経営支援により、安定した経営が行われています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市制度融資の 利用件数	14件	26件	30件
<p>○状況：前年度と比較して、12件増加し、令和元年度以前の水準に戻りつつあります。返済期間が1年以上の長期借入が8件から14件に増加し、返済期間が1年未満の短期借入は6件から12件へと増加しました。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症対応資金(無利子)が終了し、有利子の市制度融資の利用件数が増加しました。</p> <p>○主な事務事業：中小企業者等金融支援事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市制度融資の 利用金額	37,390千円	69,240千円	100,000千円
<p>○状況：前年度と比較して、長期借入融資額は約20,210千円、短期借入融資額は16,940千円、総額で37,150千円増加しましたが、目標値に対しては低調な状態です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症対応資金(無利子)が終了したことで、市制度融資(有利子)の利用件数および利用金額が増加しています。</p> <p>○主な事務事業：中小企業者等金融支援事業</p>			

行政評価体系コード：5-15-2 担当課：商工観光課

施策名：商工業の振興 基本事業名：企業誘致の推進

基本事業の 目指す姿	企業誘致を推進することで、新たな税収や雇用が生まれています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市が誘致に関 与した進出・移 転企業数	4社 (R2:2社)	6社 (R3:2社)	2社 (R1~R4累計)

<p>○状況：前年度と比較して、2社（増設2社）増加し、目標値に達しています。</p> <p>○原因：進出企業の条件に該当する場所が提供できたためです。</p> <p>○主な事務事業：企業誘致事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
工業団地または民間適地の案内件数	40件	49件	50件
<p>○状況：前年度と比較して、進出用地の問い合わせが9件増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：鳥栖市・小郡市に進出可能な適地等が減少傾向にあるため、朝倉市への用地の問い合わせは増加傾向にあります。</p> <p>○主な事務事業：企業誘致事業</p>			

行政評価体系コード：5-15-4 担当課：商工観光課

施策名：商工業の振興 基本事業名：就業の場の創出

基本事業の目指す姿	創業や雇用の場が拡大しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
新規創業補助利用件数	9件	6件	6件
<p>○状況：前年度と比較して3件減少していますが、目標値に達しています。</p> <p>○原因：市HPや市報、チラシ等による情報発信を行うとともに、商工会議所、商工会と連携しながら事業に取り組んでいます。</p> <p>○主な事務事業：朝倉市創業支援補助金</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
高校生のハローワーク管内企業への内定者数	29人	32人	30人
<p>○状況：前年度と比較して、3人増加しています。目標値に達しています。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は地元企業と高校の就職応援会が実施できませんでしたが、依然として高校生への求人倍率が2倍以上あることから、管内への高校生の就職者数も一定維持されています。</p> <p>○主な事務事業：雇用促進事業</p>			



行政評価体系コード：5-16-2 担当課：商工観光課

施策名：観光の振興 基本事業名：観光推進体制の充実

基本事業の 目指す姿	来訪者におもてなしや魅力的な観光サービスが提供されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
ボランティアガイド数	50人	50人	50人
<p>○状況：前年度と比較して、同数で、目標値に達しています。</p> <p>○原因：団体が自主的に行う定期的な研修や、秋月地区・朝倉地区のガイド団体同士の相互研修も継続して行っているため会員数が維持されています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が出来ず、中断を余儀なくされています。</p> <p>○主な事務事業：観光振興係庶務事務</p>			

行政評価体系コード：5-16-3 担当課：商工観光課

施策名：観光の振興 基本事業名：観光資源の充実

基本事業の 目指す姿	ニーズに合った多彩な観光資源が充実しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
広域連携による取 組み数(連携して 取組んだイベント 等事業)	26件	22件	20件
<p>○状況：前年度と比較して、4件減少しましたが、目標値を超える取り組みができています。</p> <p>○原因：コロナ禍により中止となるイベントもあるなか、ワクチン接種の普及に伴い、再開するイベントもあったためです。</p> <p>○主な事務事業：観光振興係庶務事務</p>			

行政評価体系コード：5-16-4 担当課：商工観光課

施策名：観光の振興 基本事業名：観光施設の充実

基本事業の 目指す姿	観光施設の整備によって、地域の魅力が増すとともに、適切な維持管理がなされています。
---------------	---

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
観光施設のリニューアル・整備件数	6件	8件	3件
<p>○状況：前年度と比較して2件増加しました。目標値を超える施設の改修に取り組みました。内訳はサンライズ杷木4件、原鶴関連1件、甘木2件、市内全域1件です。</p> <p>○原因：設備更新が1件、老朽化に伴う改修が3件、整備が1件、新設が1件、増設が1件、撤去が1件です。</p> <p>○主な事務事業：観光施設維持管理事業、振興センター管理事業、川の駅原鶴管理事業、コア山活用事業</p>			

行政評価体系コード：6-17-1 担当課：防災交通課

施策名：交通環境の充実 基本事業名：公共交通の確保・維持・改善

基本事業の目指す姿	鉄道やバス、相乗りタクシーによる生活交通が確保・維持・改善されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
甘木鉄道利用者数(全線)	1,059,876人	1,170,178人	1,385,000人
<p>○状況：甘木鉄道利用者数は、前年度と比較して110,302人(10.4%)増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：通勤定期利用者は、福岡都市圏への便利な移動手段として広く認知され、一定数維持してきており、令和2年1月からの新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年度から増加し、令和元年度比85%まで回復しました。</p> <p>○主な事務事業：甘木鉄道支援事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
各バス路線の年間利用者数(運行補助路線、コミュバス路線)	139,145人	143,851人	195,000人

<p>○状況：バスの利用者数は、前年度と比較して、4,706人(3.4%)増加しています。内訳はコミュバスは2,453人(13.1%)減少したものの、路線バスは7,159人(6.0%)増加し、全体では増加しています。</p> <p>○原因：路線バス利用者数は、すべての路線で増加しています。長期的には、少子化の進行やマイカーの普及により減少傾向ですが、新型コロナウイルス感染症の影響は続いたものの、初めての緊急事態宣言発出による外出自粛や学校等の長期間の一斉休校等の影響が特に大きかった前年度4～5月の利用者数と比較すると、通勤・通学の利用者数が一定数回復したことが主な要因と考えられます。</p> <p>コミュティバスの利用者数は、2路線で増加し、その他の路線は減少しています。高齢者の運転免許証取得率の上昇により、新規利用者数が伸びていないこと、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や、デイサービスの休所等により大幅に減少したものとされます。</p> <p>○主な事務事業：路線バス補助事業、コミュニティバス事業</p>
--

行政評価体系コード：6-18-1 担当課：建設課

施策名：道路の整備 基本事業名：生活道路の整備・維持管理

基本事業の 目指す姿	生活道路の新設、改修、維持管理により、安全で安心して通行できるようになっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
道路管理者の責任 対象となった事故 件数	2件	0件	0件
<p>○状況：前年度と比較して、2件減少し目標値に達しました。</p> <p>○原因：舗装の剥がれなど、パトロールを行って補修しています。陥没などは地域住民からの通報により即時対応しており、事故に至らなかったとされます。</p> <p>○主な事務事業：道路維持管理事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
4m未満の狭あい 道路延長	304 km	303 km	307 km

- 状況：前年度と比較して、1k m減少し、目標値に達しています。
- 原因：事業計画や地元要望に基づき、年次計画で用地、補償交渉及び工事を実施したためです。
- 主な事務事業：道路新設改良事業、後退道路整備事業

行政評価体系コード：6-18-2 担当課：建設課

施策名：道路の整備 基本事業名：基幹道路の整備

基本事業の 目指す姿	基幹道路が整備され、迅速な移動ができるようになっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
朝倉市持丸北交差点からの北九州・ 苅田港本港入口の 通過所要時間	102分	102分	102分
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：目標値に達しています。</li> <li>○原因：令和元年に八丁峠トンネルが開通したためです。</li> <li>○主な事務事業：道路関係団体負担金事務</li> </ul>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
基幹市道(1級)の 整備率	72.2%	72.3%	71.5%
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：前年度と比較して、0.1ポイント増加し、目標値に達しています。</li> <li>○原因：荷原・荒田・黒川線工事の完了により整備率が向上したためです。</li> <li>○主な事務事業：道路新設改良事業</li> </ul>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
集落間連絡道(農 道、林道)の整備率	75.7%	79.6%	70.0%
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：前年度と比較して、3.9ポイント増加し、目標値に達しています。</li> <li>○原因：平成29年7月九州北部豪雨災害により延期していた開設工事をR2年度より再開しており、計画通り実施しています。</li> <li>○主な事務事業：高木林道開設事業</li> </ul>			

行政評価体系コード：6-18-3 担当課：建設課

施策名：道路の整備 基本事業名：橋梁の維持管理

基本事業の 目指す姿	長寿命化、適切な維持管理により、安全で安心して利用できる橋梁になっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
安全安心して利用できる橋梁割合	100%	100%	100%
<p>○状況：目標値に達しています。</p> <p>○原因：令和元年からの点検で橋梁の安全を確認しているからです。</p> <p>○主な事務事業：社会資本整備総合交付金事業</p>			

行政評価体系コード：6-18-4 担当課：建設課

施策名：道路の整備 基本事業名：浸水対策と河川整備

基本事業の 目指す姿	浸水や水害を防ぐことができています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
床上浸水件数	8戸	0戸	0戸
<p>○状況：被害が発生していません。</p> <p>○原因：令和3年は天候に恵まれ比較的大雨となる状況が少なかったからです。</p> <p>○主な事務事業：道路維持管理事業、道路新設改良事業、河川改良事業</p>			

行政評価体系コード：6-19-1 担当課：都市計画課、ふるさと課

施策名：住環境の整備 基本事業名：移住・定住の促進

基本事業の 目指す姿	移住・定住を促進する住まいづくりができています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
リフォーム補助 件数	26件	33件	50件

<p>○状況：前年度と比較して、7件増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：ホームページやパンフレットによる市民への補助金制度の周知が、申請へ繋がっていることが原因と考えられます。</p> <p>○主な事務事業：あさ暮らし住宅補助事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
朝倉市空き家バンク制度を活用し計画期間内に契約が成立した合計件数	36件 (R2:4件)	46件 (R3:10件)	累積 30件
<p>○状況：前年度と比較して、10件増加し、目標を達成しています。</p> <p>○原因：空き家バンク相談会の開催や全国版の空き家バンクへの掲載、雑誌への掲載等、広報活動を通じ、積極的に空き家の利活用を促進したからです。</p> <p>○主な事務事業：空き家利活用事業</p>			

行政評価体系コード：6-20-1 担当課：都市計画課

施策名：市街地の整備 基本事業名：中心市街地の活性化

基本事業の 目指す姿	魅力ある快適な中心市街地が形成され、にぎわいが 出ています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
駅、駅周辺の利便性 に関する満足度	50.4%	54.2%	65.0%
<p>○状況：前回と比較して、3.8ポイント増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：駅周辺において商業施設等の立地が進んだためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：都市計画推進事務</p>			

行政評価体系コード：6-21-1 担当課：上下水道課

施策名：上水道の整備 基本事業名：安全な水道水の供給

基本事業の 目指す姿	市民に安全な水道水が供給されています。
---------------	---------------------

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
水質基準不適合率	0%	0%	0%
<p>○状況：目標値に達しています。</p> <p>○原因：日々の徹底した水質管理が、効果を表していると考えられます。</p> <p>○主な事務事業：上水道事業</p>			

行政評価体系コード：6-21-2 担当課：上下水道課

施策名：上水道の整備 基本事業名：水道水の安定的な供給

基本事業の 目指す姿	市民に水道水が安定的に供給されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
有収率	89.9%	90.8%	93.7%
<p>○状況：前年度と比較して、0.9ポイント増加しています。</p> <p>○原因：漏水等による無収水量の存在が有収率の低下原因となっていますが、漏水対策を行い、若干ですが改善することができています。</p> <p>○主な事務事業：上水道事業</p>			

行政評価体系コード：6-21-3 担当課：上下水道課

施策名：上水道の整備 基本事業名：健全な上水道事業経営の推進

基本事業の 目指す姿	健全な上水道事業経営がなされています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
公営企業会計における 経常収支比率	102.7%	103.0%	100%
<p>○状況：前年度と比較して、0.3ポイント増加し、目標値に達しています。</p> <p>○原因：令和2年度に小石原川ダムの完成に伴う福岡県南水道企業団からの受水費が増えたことにより数値が悪化していますが、令和3年度については、企業活動の活発化による料金収入の増加が数値の上昇に繋がったと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：上水道事業</p>			

行政評価体系コード：6-22-1 担当課：上下水道課

施策名：下水道の整備 基本事業名：公共下水道事業等の推進

基本事業の 目指す姿	認可区域内の下水道事業等を推進し、生活環境が改善しています。		
成果指標名称	前年度(前回) 数値	現状値 (令和3年度)	目標値
公共下水道の供用 開始区域	823.8 ha	853.6 ha	1,250 ha
<p>○状況：前年度と比較して、29.8ha 増加し、目標値に対して順調です。残り 396.4ha を4年間で整備する予定であるため、ほぼ計画通りとなっています。</p> <p>○原因：流域関連公共下水道事業、朝倉処理区特環公共下水道事業において、供用を開始したことが要因です。</p> <p>○主な事務事業：流域関連公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回) 数値	現状値 (令和3年度)	目標値
公共下水道の供用 開始区域内人口	22,216 人	29,609 人	26,200 人
<p>○状況：前年度と比較して、7,393 人増加し、目標値に対して順調です。公共下水道全体計画区域内人口が、32,800 人であり、ほぼ計画どおりとなっています。</p> <p>○原因：流域関連公共下水道事業、朝倉処理区特環公共下水道事業において、下水道の整備に伴い供用を開始したことが要因です。</p> <p>○主な事務事業：流域関連公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回) 数値	現状値 (令和3年度)	目標値
公共下水道の接続 人口	20,827 人	22,511 人	24,600 人
<p>○状況：前年度と比較して、1,684 人増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：公共下水道の供用開始区域内人口が増加していることが大きな要因です。</p> <p>○主な事務事業：流域関連公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業</p>			



行政評価体系コード：6-22-2 担当課：上下水道課

施策名：下水道の整備 基本事業名：合併処理浄化槽の推進

基本事業の 目指す姿	合併処理浄化槽を設置し、未処理の生活雑排水等を浄化し、水質環境が改善しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市設置型事業による 接続人口	3,798人	4,185人	5,000人
<p>○状況：前年度と比較して、387人増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：新規に44基の合併処理浄化槽を設置するとともに11基の寄付を受け付けました。 新規浄化槽の設置、既存浄化槽の寄付を受け付けているため、接続人口が増えています。</p> <p>○主な事務事業：特定地域生活排水処理事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
個人設置型事業による 接続人口	9,255人	6,989人	2,900人
<p>○状況：前年度と比較して、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：公共下水道への切替や寄付採納で接続人口が減少しています。</p> <p>○主な事務事業：個人設置型浄化槽設置整備補助事業</p>			

行政評価体系コード：6-22-3 担当課：上下水道課

施策名：下水道の整備 基本事業名：施設の適切な維持管理

基本事業の 目指す姿	下水道等施設の機能が適切かつ安定的に維持管理されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
下水道等処理施設の 放流水質基準達成率	100%	100%	100%

<p>○状況：水質基準 100%に達しています。</p> <p>○原因：指定点検項目（公共下水道 44 項目、農業集落排水施設等 10 項目）の検査を行いました。下水道等処理施設の管理委託業者が、適切に管理しながら、計画どおりに事業実施したためです。</p> <p>○主な事務事業：流域関連公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業 農業集落排水事業、小規模集合排水処理事業 地域排水処理事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
合併処理浄化槽の放流水質基準達成率	100%	100%	100%
<p>○状況：水質基準 100%に達しています。</p> <p>○原因：浄化槽法第 11 条に定める定期検査を（一財）福岡県浄化槽協会によって年 1 回実施しています。市設置型浄化槽においては管理委託会社に月 1 回の定期点検を委託し、適切に管理が行われることにより排水の水質基準が守られ、計画通りとなっています。個人設置型浄化槽においても同様の管理が行われています。</p> <p>○主な事務事業：特定地域生活排水処理事業、個人設置型浄化槽設置整備補助事業</p>			

行政評価体系コード：7-23-1 担当課：子ども未来課

施策名：子育て支援の充実 基本事業名：子育て環境の充実

基本事業の目指す姿	安心して結婚、出産、子育てができる環境が整っています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
保育所（園）待機児童数	0 人	0 人	0 人
<p>○状況：保育所（園）・幼稚園ともに待機児童はいません。</p> <p>○原因：市街地にある私立保育園に希望が集中していますが、定員を超えて弾力的運用を行っていることと公立保育所への利用調整を行うことによるものと思われます。</p> <p>○主な事務事業：公立保育所管理運営事業、私立保育園運営委託等事業</p>			

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
子育て支援サービスの認知度	23.8%	30.1%	40.0%
<p>○状況：前回と比較して、6.3ポイント上昇しました。目標に対して順調です。</p> <p>○原因：子育て支援ブックの配布やHPの充実、また、市報における子育て関連特集など周知に力を入れた成果だと思われます。</p> <p>○主な事務事業：児童・母子相談事業、つどいの広場事業  ファミリーサポートセンター事業、こんにちは赤ちゃん事業  乳幼児健康支援一時預かり事業、子育て短期支援事業  私立保育園一時預かり事業、子育て支援ブック作成事業  私立保育園地域子育て支援拠点事業  子育て相談センターあさくらっこ事業</p>			

行政評価体系コード：7-23-2 担当課：健康課

施策名：子育て支援の充実 基本事業名：母子保健の充実

基本事業の目指す姿	子どもが健やかに成長できるように、母子の健康が保たれています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
妊娠健診の平均受診回数	11.4回	11.5回	11回
<p>○状況：前年度と比較して、0.1回増加し、目標値に達しています。</p> <p>妊婦健診の受診可能回数は14回です。妊娠届出週数や妊娠期間は個人差があり、妊婦健診の受診回数は妊婦により異なりますが、妊娠期間中に必要な健診回数は受診しており、安心・安全な管理のもとで出産に臨む事ができていると考えます。</p> <p>○原因：妊娠届出週数に個人差があることがポイント数の増減に影響しています。</p> <p>母子健康手帳交付時に妊婦健診の必要性について説明できているためです。</p> <p>○主な事務事業：妊婦支援事業</p>			

行政評価体系コード：7-23-3 担当課：子ども未来課

施策名：子育て支援の充実 基本事業名：切れ目ない相談支援の実施

基本事業の 目指す姿	妊娠期から子育て期までの不安や負担が解消され、楽しんで子育てができています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
子育てに不安や負担を感じる保護者の割合	17.0%	17.5%	40%
<p>○状況：前回と比較して、0.5ポイント上昇しました。目標に対して順調です。</p> <p>○原因：前回、最も不安や負担を感じる点は、「しつけについて(54.5%)」でしたが、今回は、「育児費用について(64.9%)」となっています。物価が上昇するなど経済情勢が変化していることが要因と思われます。</p> <p>○主な事務事業：児童・母子相談事業、つどいの広場事業          ファミリーサポートセンター事業、子育て短期支援事業          乳幼児健康支援一時預かり事業、私立保育園一時預かり事業          こんにちは赤ちゃん事業、子育て相談センターあさくらっこ事業          前向き子育て応援事業、あさくらきずなメール事業</p>			

行政評価体系コード：7-23-4 担当課：子ども未来課

施策名：子育て支援の充実 基本事業名：児童虐待の防止

基本事業の 目指す姿	児童虐待の早期発見、早期対応により事案が減少しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
児童の一時保護(虐待)件数	27件	14件	0件
<p>○状況：前回と比較して、13件減少しました。</p> <p>○原因：減少理由は不明ですが、以前と比較すると高い水準にあります。</p> <p>○主な事務事業：児童・母子相談事業、つどいの広場事業          ファミリーサポートセンター事業、子育て短期支援事業          乳幼児健康支援一時預かり事業、私立保育園一時預かり事業          こんにちは赤ちゃん事業、あさくらきずなメール事業          新生児訪問事業</p>			

行政評価体系コード：7-23-5 担当課：子ども未来課、健康課、保険年金課  
 施策名：子育ての経済的支援 基本事業名：児童虐待の防止

基本事業の 目指す姿	経済的負担が軽減されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
育児費用に対し負担を感じる保護者の割合	4.7%	11.1%	20%
<p>○状況：前回と比較して、6.4ポイント増加していますが、目標値の範囲内です。</p> <p>○原因：【子ども未来課】          新型コロナウイルス感染症の長期化や物価が上昇するなど経済情勢が不安定化していることが要因と思われます。</p> <p>【健康課】          1歳～中学3年生相当年齢の者を対象にインフルエンザ予防接種の助成事業を実施しており、それによって保護者の育児費用の一部に対しては負担軽減につながっていると考えられます。</p> <p>○主な事務事業：児童・母子相談事業、つどいの広場事業、子育て短期支援事業          ファミリーサポートセンター事業、こんにちは赤ちゃん事業          乳幼児健康支援一時預かり事業、私立保育園一時預かり事業          児童手当給付事業、児童扶養手当給付事業          特別児童扶養手当支給事務、          自立支援教育訓練給付事業、高等職業訓練促進給付事業          保育所・学童保育所保育料減免事業、就学援助費支給事業、          中学生以下インフルエンザ予防接種料金助成事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
医療費に対し負担を感じる保護者の割合	2.4%	5.1%	7.0%

<p>○状況：子ども医療給付事務について、令和3年度の市民アンケート結果、11人/217人（約5.1%）が医療費の負担に不安を感じているという結果になりましたが、目標値の7%は下回っています。</p> <p>○原因：子ども医療助成制度を実施しており、令和3年度からは助成対象を中学生までに拡大したため、保護者の医療費に対する不安や負担を和らげることにつながっていると考えられます。</p> <p>医療費助成制度の内訳は、医療費に係る負担のうち、就学前は全額、小中学生は一部を助成するものです。</p> <p>○主な事務事業：子ども医療給付事務</p>
---

行政評価体系コード：7-24-1 担当課：教育課

施策名：学校教育の充実 基本事業名：確かな学力の育成

基本事業の 目指す姿	学習習慣が身に付き、個性や能力が伸び、学力が向上しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合	小学校 74.8% 中学校 35.2%	小学校 74.0% 中学校 54.7%	小学校 67.0% 中学校 55.0%
<p>○状況：令和元年度と比較して、小学校では0.8ポイント減少し、目標値より7.0ポイント上回っています。中学校では19.5ポイント増加し、目標値より0.3ポイント下回っています。</p> <p>○原因：学習習慣の定着を図る学習方法の指導と家庭啓発を行ったためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：小学校研究等委託事業、中学校研究等委託事業</p>			

行政評価体系コード：7-24-2 担当課：教育課

施策名：学校教育の充実 基本事業名：豊かな心の育成

基本事業の 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の心が豊かに成長し、指導・相談体制も充実しています。</li> <li>・朝倉市の現在、過去、未来に関心を持ち、郷土を理解しながら成長しています。</li> </ul>
---------------	--

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
人の役に立つ人間 になりたいと思う 児童生徒の割合	小学校 97.0% 中学校 95.9%	小学校 96.4% 中学校 94.6%	小学校 94.0% 中学校 95.0%
<p>○状況：令和元年度と比較して、小学校で0.6ポイント、中学校で1.3ポイント減少しています。</p> <p>○原因：各学校での好ましい人間関係をつくる話し合い活動や道徳科などでの自分の生き方について考える教育活動の推進によるものと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：小学校生きる力育成推進事業、中学校生きる力育成推進事業</p>			

行政評価体系コード：7-24-4 担当課：教育課

施策名：学校教育の充実 基本事業名：開かれた学校づくり

基本事業の 目指す姿	家庭・地域・関係機関が連携し、保護者や地域に開かれ、信頼された学校となっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
地域や社会をよく するために何をす べきか考えて行動 している児童生徒 の割合	小学校 58.6% 中学校 38.5%	小学校 55.7% 中学校 42.9%	小学校 50.0% 中学校 50.0%
<p>○状況：令和元年度と比較して、小学校で2.9ポイント減少し、中学校では4.4ポイント増加しています。</p> <p>○原因：地域の教育資源を教材化し、総合的な学習の時間や学校行事等の教育活動の中で地域の特色を学ぶ機会が定着してきたためと考えられます。しかし、小学校では、新型コロナウイルス感染症により地域活動が減少したためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：小学校生きる力育成推進事業、中学校生きる力育成推進事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
飲酒運転、セクハラ、体罰、情報漏えい発生率	0%	0%	0%

<p>○状況：前年度に引き続き、飲酒運転、セクハラ、体罰、情報漏えいの発生はありませんでした。</p> <p>○原因：定例の朝倉市不祥事防止対策委員会を年間 12 回行い、不祥事防止のための「チェックリスト」や「唱和訓」の活用を通して、不祥事防止に向けた意識高揚に努めたためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：教育支援センター運営事業</p>
---

行政評価体系コード：7-24-5 担当課：教育課

施策名：学校教育の充実 基本事業名：教育環境の充実

基本事業の 目指す姿	整えられた学校環境で安全に学んでいます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
月初めに安全点検を実施した学校の割合	100%	100%	100%
<p>○状況：前年度に引き続き、すべての小中学校において実施をしています。</p> <p>○原因：小中学校において、毎月の通常点検と学期に一度の組織的安全点検を実施することが、定着してきたためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：小学校施設維持管理事業、中学校施設維持管理事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
学期1回のいじめアンケートに基づく教育相談を実施した学校の割合	100%	100%	100%
<p>○状況：前年度に引き続き、すべての小中学校で実施しました。</p> <p>○原因：スクールソーシャルワーカーや関係機関、スクールカウンセラーと連携して対応することができたためです。</p> <p>○主な事務事業：教育相談事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
学期1回の通学路・集団登校点検をした学校の割合	100%	100%	100%



<p>○状況：前年度に引き続き、すべての小中学校で実施しました。</p> <p>○原因：各学校において、定期的な通学路・集団登校点検の実施が定着したためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：スクールバス運行管理事業（小学校） 遠距離通学支援事業（小学校） スクールバス運行管理事業（中学校） 遠距離通学支援事業（中学校）</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
業務改善への努力目標の設定と職員への周知をした学校の割合	100%	100%	100%
<p>○状況：前年度に引き続き、すべての学校で実施しました。</p> <p>○原因：業務改善への努力目標の設定と職員への周知をしていますが、始業前は30～50分程度、就業時刻後は1～2時間程度の超過勤務を行っている実態があります。</p> <p>○主な事務事業：小学校学事振興事業、中学校学事振興事業</p>			

行政評価体系コード：7-24-6 担当課：教育課

施策名：学校教育の充実 基本事業名：教育支援の充実

基本事業の 目指す姿	教職員の資質が向上するとともに、教育相談や不登校児童生徒の支援が行われています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
教育支援センターの研修に対する受講者満足度	100%	100%	100%
<p>○状況：受講者の満足度は100%となっています。</p> <p>○原因：高い満足度が得られているのは、毎年、必要とする研修を調査研究し、講師の選定にも調査を実施しているためと思われます。</p> <p>○主な事務事業：教育支援センター運営事業</p>			

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
委託研究員を選出した学校の割合	76.5%	82.4%	100%
<p>○状況：前年度と比較して、5.9ポイント増加しています。委託研究員を選出した学校は17校中14校です。</p> <p>○原因：若年教師育成の視点から研修に該当する教師を対象として募集をしましたが、学校の諸事情により全ての学校からの選出には至りませんでした。</p> <p>○主な事務事業：小学校研究等委託事業、中学校研究等委託事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
卒業後の進路が決定した適応指導教室の生徒の割合	100%	100%	100%
<p>○状況：前年度に引き続き、目標値に達しています。</p> <p>○原因：適応指導教室での熱心な進路指導により、適正な進路を決定することができたと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：教育支援センター運営事業</p>			

行政評価体系コード：8-26-2 担当課：文化・生涯学習課

施策名：歴史の継承と文化の振興 基本事業名：文化施設の管理運営

基本事業の目指す姿	身近に文化芸術にふれる施設、文化芸術活動を行う施設があり、安全快適に利用できます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
文化施設維持管理上の不具合・トラブル件数	0件	0件	0件
<p>○状況：文化施設維持管理上の不具合・トラブルにより施設を利用できなくなることはありませんでした。目標値に達しています。</p> <p>○原因：専門業者による各種の保守点検を定期的に行っていること、不具合が起きる前に施設の修繕・工事ができていることが考えられます。</p> <p>○主な事務事業：総合市民センター管理運営事業 朝倉地域生涯学習センター管理運営事業 杷木地域生涯学習センター管理運営事業 市民センター施設補修事業</p>			

行政評価体系コード：8-26-3 担当課：文化・生涯学習課

施策名：歴史の継承と文化の振興 基本事業名：文化財の保護

基本事業の 目指す姿	地域に残されてきた貴重な各種文化財を保護し、確実に後世に 伝わっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
指定文化財の数	94件	94件	94件
<p>○状況：前年度と比較して、横ばいで、目標値に達しています。</p> <p>○原因：市内の指定文化財について所有者、管理者、行政等が協力し、適切に管理 等を行ったことによるものです。</p> <p>○主な事務事業：指定文化財等保存管理事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
朝倉市秋月博物 館・甘木歴史資 料館の所蔵資料 件数	21,681件	21,964件	20,920件
<p>○状況：前年度と比較して、283件の増で、目標値に達しています。</p> <p>○原因：甘木歴史資料館は19件の増、朝倉市秋月博物館は旧秋月藩関連資料222 件、絵画資料42件の増によるものです。</p> <p>○主な事務事業：秋月博物館管理・活用事業、歴史資料館管理事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
埋蔵文化財の状 況を把握した市 域面積(累計)	1,526.4ha	1,556.4ha	1,300.0ha
<p>○状況：前年度と比較して、30.0ha増加し、目標値に達しています。</p> <p>○原因：平成29年7月九州北部豪雨災害に係る復旧・復興工事に伴い、埋蔵文化財 の事前審査面積が著しく増加したためです。</p> <p>○主な事務事業：埋蔵文化財調査事業 埋蔵文化財調査事業(補助)</p>			

行政評価体系コード：9-27-1 担当課：総務財政課

施策名：健全な財政運営 基本事業名：適切な歳出管理

基本事業の 目指す姿	歳入に見合った事業量・事業選択を行っています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
実質単年度収支額	1,230.72百万円	1,499.72百万円	406.79百万円
<p>○状況：総務省の調査(普通決算統計調査)に基づく数値で、15.0億円の黒字となっています。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症の影響により地方税は減となったものの、地方交付税やふるさと応援寄附金の大幅増等によるものです。</p> <p>○主な事務事業：予算編成・執行管理事務</p>			

行政評価体系コード：9-27-2 担当課：ふるさと課、収納対策課

施策名：健全な財政運営 基本事業名：自主財源の確保

基本事業の 目指す姿	自主財源が確保されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
ふるさと応援寄附金の寄付額	2,264,713千円	2,438,052千円	600,000千円
<p>○状況：目標値に対して1,838,052千円、前年度比173,339千円の増加となりました。</p> <p>○原因：寄附受付窓口を3サイト増設したことに加え、新型コロナウイルス感染防止策による巣ごもり需要も重なったことで寄附が増加したと思われます。</p> <p>○主な事務事業：ふるさと応援寄附金事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市税収納率 (現年度分)	98.76%	99.26%	98.70%

○状況：前年度と比較して0.5%増加しています。

○原因：現年度分を中心に徴収嘱託員による電話・訪問催告を強化し、早期対応による自主納付を促しました。また、未納のまま放置されないよう個別の事情に応じた納税相談を行いました。納期限を過ぎても納付がない場合は財産調査を行い、法律に基づいた財産の差押を行い、高い収納率を維持できています。

○主な事務事業：滞納整理管理事務

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
滞納繰越額	838,404千円	848,232千円	1,013,175千円

○状況：前年度と比較して9,828千円増加していますが、目標値は下回っています。

○原因：一斉催告を年4回、延べ8,851人に発送しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえつつも、税負担の公平性の観点から、国税徴収法に基づき滞納者の財産調査を速やかに行い、預貯金・給与・不動産差押等、滞納処分を行うことで、滞納繰越額は減少傾向にあります。

○主な事務事業：滞納整理管理事務

行政評価体系コード：9-27-3 担当課：総務財政課

施策名：健全な財政運営 基本事業名：公共施設等の管理活用

基本事業の 目指す姿	有効に活用され、適正に管理されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市有財産における 未利用地面積	10,554.42 m <sup>2</sup>	9,674.11 m <sup>2</sup>	10,000.00 m <sup>2</sup>
○状況：昨年度から880.31 m <sup>2</sup> 減少し、目標値を達成しました。			
○原因：防火水槽等の消防施設用地として活用するためです。			
○主な事務事業：財産の処分・貸付			

行政評価体系コード：9-28-1 担当課：総合政策課

施策名：効率的な行政運営 基本事業名：成果に基づく行政経営の推進

基本事業の 目指す姿	成果志向の行政経営が効果的、効率的に行われています。
---------------	----------------------------

成果指標名称	前年度(前回) 数値	現状値 (令和 3 年度)	目標値
基本事業の成果指標の向上率	51.6%	53.6%	45.0%
<p>○状況：前年度と比較して、2ポイント増加しており、目標値に達しています。</p> <p>○原因：コロナ禍の活動制限により影響を受けていた事業が、制限緩和により復調したことが原因のひとつであると推察します。</p> <p>○主な事務事業：行政評価事務</p>			
成果指標名称	前年度(前回) 数値	現状値 (令和 3 年度)	目標値
成果志向で考える組織・職員になっていると思う職員の割合	65.1%	67.6%	68.0%
<p>○状況：前回アンケートと比較して、2.5ポイント増加しており、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：施策・基本事業評価の結果を踏まえ、新規事業立案及び事務事業見直しの際に、具体的に見直す事業を示すなど、成果動向を意識する仕掛けを行ったことが一因であると推察します。</p> <p>○主な事務事業：行政評価事務</p>			

行政評価体系コード：9-28-2

担当課：総合政策課

施策名：効率的な行政運営

基本事業名：利便性の高い行政サービスの推進

基本事業の目指す姿	迅速・確実に利便性の高い行政サービスが提供されています。		
成果指標名称	前年度(前回) 数値	現状値 (令和 3 年度)	目標値
市のITサービスを利用している市民の割合	39.1%	49.1%	40.0%
<p>○状況：前回のアンケートより10ポイント増加し、目標値に達しています。中でも30代と70代以上が10ポイント程度増えています。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症による市ホームページの閲覧数の増や申請様式等のダウンロード利用が主に利用されている要因となっています。</p> <p>○主な事務事業：情報系システム・光網管理運営事業</p>			

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
窓口サービスの満足度(利用者のみ)	88.0%	91.3%	95.0%
<p>○状況：前回と比較して、3.3ポイント増加し、目標値に対して順調です。</p> <p>○原因：市職員が成果指標を向上させることの重要性を理解しており、市民に対して、一定の水準を確保した窓口サービスを提供しているため、満足度が向上したと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：ワンストップ窓口業務</p>			

行政評価体系コード：9-28-3

担当課：人事秘書課

施策名：効率的な行政運営

基本事業名：職員の育成・資質向上と組織の整備

基本事業の目指す姿	多様化・高度化するニーズに対応できる職員・組織になっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
研修内容が業務に生かしていると思う職員の意識割合	66.1%	79.9%	90.0%
<p>○状況：前年度と比較して、13.8ポイント増加し、目標値に対して、一転して値が伸びています。</p> <p>○原因：実務研修等受講者の業務内容に関連する研修の受講が意識割合の増加に繋がったものと推察されます。</p> <p>○主な事務事業：職員人材育成事業</p>			

行政評価体系コード：9-28-4

担当課：人事秘書課

施策名：効率的な行政運営

基本事業名：積極的な広聴と情報発信

基本事業の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の情報が分かりやすく提供されています。</li> <li>・市に対する意見が届きやすくなっています。</li> </ul>		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市からの情報提供に満足している市民の割合	62.9%	65.0%	90.0%

<p>○状況：前回と比較して、2.1ポイント増加し、目標値に対し微増傾向にあります。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症に関する情報提供など、市民に密接した行政情報への関心が高まっています。</p> <p>○主な事務事業：広報紙発行事業、広報庶務事務</p>
---

行政評価体系コード：9-29-1

担当課：議会事務局

施策名：適切な事務の推進

基本事業名：円滑な議会運営支援と市民との共有化

基本事業の 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の議会に対する関心が高まります。</li> <li>・議会の情報が市民に広く伝わっています。</li> </ul>		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
議会事務に関する事務処理・ミス・トラブル件数	0件	0件	0件
<p>○状況：ミス・トラブルなく事務を行っており、目標値に達しています。</p> <p>○原因：職員間の情報共有が効果を上げているものと思われます。</p> <p>○主な事務事業：本会議・委員会等運営事務、議長会等事務 議会広報事業、議会庶務事務</p>			

行政評価体系コード：9-29-2

担当課：選挙管理委員会事務局

施策名：適切な事務の推進

基本事業名：選挙事務の推進

基本事業の 目指す姿	<p>正確な選挙事務が行われ、市民の投票に対する意識が向上しています。</p>		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
選挙事務に関するミス・トラブル件数	0件	0件	0件
<p>○状況：前回と比較してもミス・トラブルはなく、引き続き正確な事務が行われています。</p> <p>○原因：選挙期間中に毎日行っている職員全員のミーティングが効果を上げているものと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：衆議院議員選挙事務、福岡県知事選挙 秋月財産区議会議員選挙事務</p>			



成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
過去4年間の国政・ 県政選挙の県内平均 投票率との差の平均	8.28 ポイント	1.35 ポイント	1.0 ポイント
<p>○状況：福岡県知事選挙は県内投票率を上回りましたが、衆議院議員総選挙は下回りました。(福岡県知事選挙 市：34.88%、県：29.61% 衆議院議員総選挙 市：51.96%、県：54.54%)</p> <p>○原因：啓発活動や高校における出前講座等、日頃の啓発活動が効果を上げているものと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：衆議院議員選挙事務、福岡県知事選挙</p>			

行政評価体系コード：9-29-3

担当課：監査委員事務局

施策名：適切な事務の推進

基本事業名：監査事務の適正執行

基本事業の 目指す姿	適正な監査が行われています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
監査による改善率	—	100%	100%
<p>○状況：監査結果(定期監査(行政監査を含む)取扱基準「指摘事項」に該当した件数に対する、事後措置状況(「措置済」「実施中」「検討中」)の報告件数です。令和3年度は、該当がありませんでした。</p> <p>○原因：職員が法令を順守し、適切に事務を行っています。</p> <p>○主な事務事業：監査事務</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
法令違反件数	0件	0件	0件
<p>○状況：監査結果(定期監査(行政監査を含む))の取扱基準「指摘事項」のうち、法令違反件数です。令和3年度は0件でした。</p> <p>○原因：職員が法令を順守し、適切に事務を行っています。</p> <p>○主な事務事業：監査事務</p>			

行政評価体系コード：9-29-4

担当課：会計課

施策名：適切な事務の推進

基本事業名：適正な会計事務

基本事業の 目指す姿	正確で適正な会計処理が行われています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
指導による改善率	100%	100%	100%
<p>○状況：債権者誤り 1 件、支出金額誤り 3 件あり、全て確実に処理しました。</p> <p>○原因：支出根拠資料の確認不足によるものです。</p> <p>○主な事務事業：会計管理事務</p>			

行政評価体系コード：9-29-5

担当課：総合政策課

施策名：適切な事務の推進

基本事業名：保有情報の適切な管理

基本事業の 目指す姿	情報が適切に管理されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
情報漏えい件数 (紙・IT)	0 件	0 件	0 件
<p>○状況：今回の情報漏えい件数は 0 件です。</p> <p>○原因：「朝倉市情報通信端末及び情報記憶媒体取扱規程」を職員が遵守していること、並びにメール送信時における上司確認及び許可された外付けデバイス（USB 等）のみ利用できるシステムを導入していることにより情報漏えいを防止しています。</p> <p>○主な事務事業：基幹系システム管理運営事業 情報系システム・光網管理運営事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
情報セキュリティ・ トラブル件数 (ウイルス等)	0 件	0 件	0 件
<p>○状況：情報セキュリティ・トラブル件数は 0 件です。</p> <p>○原因：ウイルス対策システムの導入、未知のウイルスを検知するシステム、メールの添付ファイルのウイルスを除去するシステムを導入していることにより、職員のパソコンがウイルスに感染する等の情報セキュリティにおけるトラブルは発生しておりません。</p> <p>○主な事務事業：情報系システム・光網管理運営事業</p>			

②基準年に対して不調となっている基本事業の成果指標



行政評価体系コード：1-1-1 担当課：防災交通課

施策名：防災・減災対策の推進 基本事業名：消防体制の充実

基本事業の 目指す姿	災害に対応する人員、施設装備及び消防水利が確保され、生命・財産を守ることができています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
消防団員の充足率	81.0%	77.0%	90.0%
<p>○状況：前年度と比較して、4.0ポイント減少しています。</p> <p>○原因：市の人口減少や少子高齢化により、対象人口が減少していることによるものと推察されます。</p> <p>○主な事務事業：消防団運営事業、学生消防団員奨学金給付事業</p>			

行政評価体系コード：1-2-2 担当課：建設課

施策名：交通安全・防犯対策の推進 基本事業名：交通安全施設の整備

基本事業の 目指す姿	交通安全施設の整備・適切な維持管理により交通の安全性が高まっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
交通安全施設維持 管理上の不具合改 善率	89.19%	82.14%	100%
<p>○状況：前年度と比較して、7.05ポイント減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：路面標示及び外側線が薄くなっているなど機能は有しており緊急性が低いと判断し、令和4年以降の対応としたためです。</p> <p>○主な事務事業：交通安全施設整備事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
交通安全施設整備 率	63.16%	40.00%	100%

- 状況：前年度と比較して、23.16ポイント減少し、目標値に対して低調です。
- 原因：宅地開発などが盛んになりカーブミラーの設置要望が多くなっており要望年度内での施工が追いついていないためです。
- 主な事務事業：交通安全施設整備事業

行政評価体系コード：1-2-5 担当課：商工観光課

施策名：交通安全・防犯対策の推進 基本事業名：消費者保護の推進

基本事業の 目指す姿	安全・安心な消費生活をする事ができています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
消費生活関係のト ラブルにあった市 民の割合	9.2%	10.8%	5.0%
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：前回と比較して、1.6ポイント増加しました。</li> <li>○原因：前回の調査と比較して、架空請求(ワンクリック請求を含む)による被害件数が増加したことが原因です。</li> <li>○主な事務事業：消費者保護事業</li> </ul>			

行政評価体系コード：2-3-2 担当課：ふるさと課

施策名：市民協働のまちづくり 基本事業名：市民活動の推進

基本事業の 目指す姿	多くの市民がボランティア活動を含む市民活動に自発的に参加し、活発に活動しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
ボランティア活動 をしている市民の 割合	22.5%	21.4%	35.0%
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：前回と比較して、1.1ポイント減少し、目標値に対して低調です。</li> <li>○原因：ボランティア団体数の減少等から活動者数が減少したことや新型コロナウイルス感染症の影響でボランティア活動の機会が減少したことが理由と考えられます。</li> <li>○主な事務事業：ボランティア連絡協議会支援事業</li> </ul>			

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
ボランティア・NPO 団体数	(ボラ連)31 団体 (NPO)13 団体	(ボラ連)28 団体 (NPO)15 団体	(ボラ連)40 団体 (NPO)20 団体
<p>○状況：前年度と比較してボランティア団体は3団体減少し、NPO団体は2団体増加していますが、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：活動者の高齢化等に伴う担い手不足により登録団体数や参加者数が増加しづらい状況にあると考えられます。</p> <p>○主な事務事業：ボランティア連絡協議会支援事業</p>			

行政評価体系コード：2-3-3 担当課：ふるさと課

施策名：市民協働のまちづくり 基本事業名：協働によるまちづくり意識の醸成

基本事業の 目指す姿	市民、行政が協働のまちづくりの重要性を理解し、それぞれの役割を担っていきます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
行政が市民と協働 で取り組んでいる 事業数	25 事業	24 事業	40 事業
<p>○状況：前年度と比較して1事業減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症の影響で各種スポーツ大会、あさくら祭り、三連水車ライトアップ等の事業が実施困難となったことが原因です。</p> <p>○主な事務事業：提案公募型協働事業</p>			

行政評価体系コード：2-5-3 担当課：総合政策課

施策名：人権が尊重されたまちづくり 基本事業名：男女共同参画の推進

基本事業の 目指す姿	あらゆる分野において、性別にかかわらず、個性や能力を發揮する機会や学習の場に参画できる人が増えています。
---------------	--

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
男女があらゆる分野で平等に参加していると思う市民割合	11.0%	9.1%	15.0%
<p>○状況：市民割合は前回より 1.9 ポイント低下しているため、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：男性への優遇、女性への優遇ともに増加しており、男女が平等に社会参加すべきという意識が、まだ浸透していないと推測されます。</p> <p>○主な事務事業：男女共同参画推進事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
審議会、委員会、協議会等委員の女性委員の割合	31.5%	32.6%	35.0%
<p>○状況：令和3年4月1日時点の審議会、委員会、協議会等委員の女性の割合は、前年度と比較して、1.1 ポイント上昇していますが、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：各会で、選出方法など改善・見直しを進められてきたためと考えます。</p> <p>○主な事務事業：男女共同参画推進事業</p>			

行政評価体系コード：3-6-2 担当課：健康課

施策名：健康づくりの推進 基本事業名：疾病の予防と健康管理

基本事業の 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に検診を受診し、自分の健康管理を行う人が増えています。</li> <li>・予防接種による感染症の予防ができています。</li> </ul>		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
中学生以下インフルエンザ予防接種料金助成事業での接種率	61.1%	47.8%	60.0%

- 状況：前年度と比較して、13.3ポイント減少し、目標値に対して低調です。
- 原因：対象者に対して受診案内を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策で、インフルエンザの流行がなく、新型コロナウイルスワクチンの接種も進んだことから、同時流行を防ぐ目的も薄れ、接種率が減少したと考えられます。
- 主な事務事業：中学生以下インフルエンザ予防接種料金助成事業

行政評価体系コード：3-7-2 担当課：介護サービス課

施策名：高齢者福祉の推進 基本事業名：介護サービス・日常生活支援の充実

基本事業の 目指す姿	支援や介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で生活できるよう、適切な日常生活支援のサービスを受けられています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
介護サービス以外の日常生活支援サービス延べ利用者数	3,975人	3,756人	4,050人
<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況：前年度と比較して、219人減少し、目標値に対して低調です。</li> <li>○原因：住み慣れた地域で、いつまでも生活できるための生活支援が、民生委員をはじめ地域の協力体制のもと、継続的に提供されていることが考えられるものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により施設利用ができなくなった等の理由により、利用者数の低下につながったものと考えられます。</li> <li>○主な事務事業：介護予防・日常生活支援総合事業、任意事業</li> </ul>			

行政評価体系コード：3-9-1 担当課：保険年金課

施策名：社会保障の適正な運営 基本事業名：国民健康保険制度の適正な運営

基本事業の 目指す姿	社会保障における保険制度の理解と適正な負担を求め、重複受診の抑制や後発医薬品の使用促進により医療費の適正化を進め、保険制度が適正に運用されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
一人あたりの医療費(国保)	431,042円	464,498円	457,000円

<p>○状況：前年度と比較して、33,456円増加しており、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：前年度、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより医療費は減少していましたが、令和3年度、受診控えがなくなったことにより医療費が増加したと考えられます。また、費用額の総額は、約363,775千円増加しており、うち入院・入院外の費用額・件数は、前年度と比較して約262,583千円・4,379件増加しています。</p> <p>○主な事務事業：国民健康保険医療給付事務、基本健康診査等事業（健康課） がん検診事業（健康課）、特定健康審査事業（健康課）</p>
---

行政評価体系コード：3-9-4 担当課：福祉事務所

施策名：社会保障の適正な運営 基本事業名：生活保護（世帯）への自立支援

基本事業の 目指す姿	最低限度の生活保障が行われるとともに、就労支援により生活保護者（世帯）の自立が促進されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
就労支援による生活保護者の就職数	11人	7人	20人
<p>○状況：前年度と比較して、4人減少しています。就労については、就労支援相談員を配置し、就労支援を行っていますが、稼働年齢層の多い「その他世帯」に対する就職率も、減少しています。</p> <p>○原因：朝倉公共職業安定所の管内有効求人倍率は、年度末時点で令和元年度は3.33、令和3年度2.19、令和3年度2.60であり、わずかに上がっている状況です。朝倉市の保護世帯数は、横ばいですが、稼働年齢層の多い「その他世帯」は、減少しており、就労支援対象世帯の減少が影響していると考えられます。また、「その他世帯」数が、平成30年度以降ほぼ横ばいであるにもかかわらず就職数が減少傾向にあること、及び、管内有効求人倍率が令和2年11月以降下がっていることから、コロナ禍の影響も考えられます。</p> <p>○主な事務事業：生活保護適正化事務</p>			

行政評価体系コード：4-10-1 担当課：環境課

施策名：低炭素社会の構築 基本事業名：地球温暖化対策の推進

基本事業の 目指す姿	市民や事業者が地球環境にやさしい生活を送ることによって環境負荷が抑えられています。
---------------	---



成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
省エネに関する市民の実践平均項目数(全5項目での平均実践項目)	1.37 項目	1.28 項目	2 項目
<p>○状況：前回と比較して0.09項目減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：環境家計簿やエコファミリー応援アプリの活用について、市報や市ホームページに掲載する等の啓発活動に取り組んでいますが、啓発が不十分であり、市民の節電・省エネに対する意識の定着に至らなかったためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：その他環境啓発事業</p>			

行政評価体系コード：4-11-1 担当課：環境課

施策名：循環型社会の構築 基本事業名：ごみ減量の推進

基本事業の目指す姿	市民、事業者による廃棄物の発生が抑制されています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値 (令和3年度)	目標値
事業系のごみ量	4,969 t	5,180 t	10,000 t
<p>○状況：各事業所から出るごみを、許可業者が収集運搬しサン・ポートへ搬入する量が、前年度と比較して、211トン増加し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：令和2年度は新型コロナの影響により事業活動が縮小した影響があったものの、令和3年度は事業活動が活発化し増加したと推測されます。</p> <p>○主な事務事業：家庭系可燃ごみ収集運搬事業、家庭系資源ごみ収集運搬事業 家庭系粗大ごみ収集運搬事業、古紙等回収補助事業</p>			

行政評価体系コード：4-11-2 担当課：環境課

施策名：循環型社会の構築 基本事業名：ごみの適正処理とリサイクルの推進

基本事業の目指す姿	ごみが適正に処理されています。 ごみの分別やリサイクルに取り組んでいます。
-----------	--

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
ごみのリサイクル率	19.6%	19.0%	29.9%
<p>○状況：前年度と比較して、0.6ポイント減少し、目標値に対して低調です。福岡県平均が21.2%(令和3年度)であり、県平均よりやや低い率となっています。</p> <p>○原因：平成29～令和元年度は災害廃棄物を集積場に集め、適正処理を行ったため例年より高いリサイクル率となっていました。令和3年度以降は災害廃棄物の処理が無かったため例年並みのリサイクル率となっています。</p> <p>○主な事務事業：家庭系可燃ごみ収集運搬事業、家庭系資源ごみ収集運搬事業 家庭系粗大ごみ収集運搬事業、古紙等回収補助事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市民1人当たりのごみの収集コスト	3,767円	4,149円	3,300円
<p>○状況：前年度と比較して、382円増額し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：朝倉市の人口は減少傾向にありますが、世帯数は増加傾向にあり、ごみ収集の区域および回数に変更はありませんのでごみ収集に係るコストは減少していません。</p> <p>○主な事務事業：家庭系可燃ごみ収集運搬事業、家庭系資源ごみ収集運搬事業 家庭系粗大ごみ収集運搬事業、古紙等回収補助事業</p>			

行政評価体系コード：4-13-4 担当課：環境課

施策名：快適な生活環境の確保 基本事業名：水環境の保全

基本事業の 目指す姿	自然環境が適切に保全され、市民が健康で心地よく暮らすことができます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
水質基準を満たす 河川水質検査箇所 の割合	94%	84%	90%
<p>○状況：前年度と比較して、7ポイント減少しており、目標値も下回っています。</p> <p>○原因：水路等の水量が減少し、適正な維持管理(清掃等)が十分にできていないことが原因でBOD値が高い状態になっているものと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：環境定期調査事業</p>			

行政評価体系コード：5-14-3 担当課：農業振興課

施策名：農林業の振興 基本事業名：荒廃農地等の有効利用の促進

基本事業の 目指す姿	荒廃農地の再生にあたっては、国・県の関連事業を活用した作物の作付けや、新たな耕作者による営農等、持続的な農地の有効利用が図られています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
荒廃農地面積	107.6 ha	110.5 ha	95.0 ha
<p>○状況：前年度と比較して、2.9ha増加し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：農業従事者の高齢化や後継者不足が進み、労働力不足が考えられます。加えて、条件不利な圃場で収益不採算などの理由により増加したためです。</p> <p>○主な事務事業：農地中間管理事業</p>			

行政評価体系コード：5-14-9 担当課：農業振興課

施策名：農林業の振興 基本事業名：消費者との交流による農村地域の活性化

基本事業の 目指す姿	グリーンツーリズムの実施や食育の推進、直売所の魅力アップ等により農業への理解や地域の活性化が進んでいます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値（令和3年度）	目標値
三連水車の里あさくら・ファームステーションバサロ入込客数	903 千人	872 千人	1,100 千人
<p>○状況：前年度と比較して、31,000人減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症の影響及び8月の大雨により、入込客数が減少したためです。</p> <p>○主な事務事業：杷木農業公園・バサロ管理事業、三連水車の里あさくら管理事業</p>			

行政評価体系コード：5-16-1 担当課：商工観光課

施策名：観光の振興 基本事業名：観光PRの充実

基本事業の 目指す姿	市外の多くの方に、観光地の情報を発信し、朝倉市の魅力が高まっています。
---------------	-------------------------------------

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
マスコミへのリリース件数 (新聞、テレビ、雑誌等)	415 件	234 件	800 件
<p>○状況：前年度と比較して、181 件減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：コロナ禍により参加イベントの回数が減少し、情報発信回数も減少したためです。</p> <p>○主な事務事業：観光協会観光宣伝委託事業</p>			

行政評価体系コード：5-16-3 担当課：商工観光課

施策名：観光の振興 基本事業名：観光資源の充実

基本事業の 目指す姿	ニーズに合った多彩な観光資源が充実しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
観光資源数 (パンフレット掲載件数、ホームページ紹介件数)	160 件	139 件	280 件
<p>○状況：前年度と比較して、21 件減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：コロナ禍により参加イベントの回数が減少し、情報発信回数も減少したためです。</p> <p>○主な事務事業：観光協会観光宣伝委託事業</p>			

行政評価体系コード：5-16-4 担当課：商工観光課

施策名：観光の振興 基本事業名：観光施設の充実

基本事業の 目指す姿	観光施設の整備によって、地域の魅力が増すとともに、適切な維持管理がなされています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
観光施設の不具合・トラブル件数	25 件	15 件	0 件

<p>○状況：前年度と比較して、10件減少していますが、目標値に対しては低調です。 内訳はサンライズ杷木4件、その他原鶴関連施設6件、甘木1件、秋月2件、朝倉2件です。</p> <p>○原因：設備の経年劣化によるものが11件、枝切等撤去が3件、害虫駆除が1件です。</p> <p>○主な事務事業：観光施設維持管理事業、振興センター管理事業 川の駅原鶴管理事業</p>
---

行政評価体系コード：7-23-1 担当課：子ども未来課

施策名：子育て支援の充実 基本事業名：子育て環境の充実

基本事業の 目指す姿	安心して結婚、出産、子育てができる環境が整っています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
地域子育て支援センター利用人数	6,918人	6,721人	14,000人

○状況：前年度と比較して、197人減少しています。目標に対して低調です。  
○原因：新型コロナウイルス感染症等によりイベント回数が減少したり、利用が控えられたためと考えられます。  
○主な事務事業：私立保育園地域子育て支援拠点事業、つどいの広場事業

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
乳幼児健康支援一時預かり利用人数	20人	26人	120人

○状況：前年度と比較して、6人増加しています。目標に対して低調です。  
○原因：新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、利用を控えられたためと考えられます。  
○主な事務事業：乳幼児健康支援一時預かり事業

行政評価体系コード：7-24-1 担当課：教育課

施策名：学校教育の充実 基本事業名：確かな学力の育成

基本事業の 目指す姿	学習習慣が身に付き、個性や能力が伸び、学力が向上しています。
---------------	--------------------------------

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
学校の授業以外に2時間以上学習をしている児童生徒の割合	小学校 20.8% 中学校 27.3%	小学校 20.9% 中学校 23.5%	小学校 33.0% 中学校 40.0%
<p>○状況：小中学校ともに目標値を下回っています。令和元年度と比較して、小学校では0.1ポイント増加し、中学校では3.8ポイント減少しています。</p> <p>○原因：小中学校ともに自宅学習が宿題のみ行っており、自分で課題を見つけての学習に繋がっていない児童生徒が多いと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：小学校研究等委託事業、中学校研究等委託事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
将来の夢や目標をもち目標達成に向けて学習する児童生徒の割合	小学校 84.0% 中学校 70.2%	小学校 81.7% 中学校 66.2%	小学校 88.0% 中学校 75.0%
<p>○状況：小中学校ともに目標値を下回っています。令和元年度との比較において小学校は2.3ポイント、中学校は4.0ポイント減少しています。</p> <p>○原因：コロナ禍により、計画していたキャリア教育（職場体験や外部人材の活用、協力しての調査や協議等）が予定通り実施できなかったためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：小学校生きる力育成推進事業、中学校生きる力育成推進事業</p>			

行政評価体系コード：7-24-4 担当課：教育課

施策名：学校教育の充実 基本事業名：開かれた学校づくり

基本事業の目指す姿	家庭・地域・関係機関が連携し、保護者や地域に開かれ、信頼された学校となっています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
学校運営協議会(旧おらが学校委員会)を年3回以上実施した学校の割合	11.8%	41.2%	100%

- 状況：年3回以上開催している小中学校は17校中7校です。
- 原因：新型コロナウイルス感染症対策により、通常通り開催できませんでした。
- 主な事務事業：小学校学事振興事業、中学校学事振興事業

行政評価体系コード：8-25-1 担当課：文化・生涯学習課

施策名：生涯学習・スポーツの振興 基本事業名：市民主体の生涯学習推進体制の強化

基本事業の 目指す姿	市民が生涯学習・スポーツを始めるきっかけを作るための体制が整っています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
自主学習団体登録数(団体)	176 団体	164 団体	180 団体
<p>○状況：前年度と比較して、12 団体減少し目標値に対し低調です。</p> <p>○原因：お茶の間学習ネットワーク事業の参加者が固定化していることや、新型コロナウイルス感染症の影響で新たな団体ができにくい状況であるためだと推察されます。</p> <p>○主な事務事業：お茶の間学習ネットワーク事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
スポーツ指導者登録数	245 人	222 人	270 人
<p>○状況：前年度と比較して、23 人減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：活動を休止した団体があったことや、スポーツ少年団員の減少に比例しての指導員数の減が考えられます。</p> <p>○主な事務事業：スポーツ少年団支援事業</p>			

行政評価体系コード：8-25-3 担当課：文化・生涯学習課

施策名：生涯学習・スポーツの振興 基本事業名：生涯学習・スポーツの機会の提供

基本事業の 目指す姿	様々な生涯学習・スポーツの機会を利用し、活発に活動しています。
---------------	---------------------------------

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
スポーツ施設利用者数	130,913人	101,424人	200,000人
<p>○状況：前年度と比較して、29,489人減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症の影響で、体育施設を休館していた期間があるためです。</p> <p>○主な事務事業：体育施設管理運営事業、ふれあい市民の広場管理運営事業 武道館管理運営事業、B&amp;G 海洋センター管理運営事業</p>			

行政評価体系コード：8-25-4 担当課：文化・生涯学習課

施策名：生涯学習・スポーツの振興

基本事業名：生涯学習・スポーツの活動拠点の管理運営

基本事業の 目指す姿	生涯学習・スポーツを推進するための施設が充実し、安全で快適に活動できます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
生涯学習施設が充足していると思う市民の割合	53.1%	56.8%	75.0%
<p>○状況：前回と比較して、3.7ポイント増加しましたが、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：順次施設改修を行っていますが、施設の利用にあたり配置の案内や空き状況等についての情報不足が、低調である原因と思われます。</p> <p>○主な事務事業：総合市民センター管理運営事業、 朝倉地域生涯学習センター管理運営事業 杷木地域生涯学習センター管理運営事業</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
スポーツ施設が充足していると思う市民の割合	43.2%	48.3%	60.0%
<p>○状況：前回と比較して、5.1ポイント増加しましたが、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：施設数や設備環境等特に変わっておらず、老朽化が進んでいることが、低調である原因と思われます。</p> <p>○主な事務事業：体育施設管理運営事業、ふれあい市民の広場管理運営事業 武道館管理運営事業、B&amp;G 海洋センター管理運営事業</p>			



行政評価体系コード：8-25-5 担当課：文化・生涯学習課

施策名：生涯学習・スポーツの振興 基本事業名：子どもたちへの学習機会の提供

基本事業の 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と一体となった学習を受けたり、異年齢交流ができます。</li> <li>・社会や地域に貢献できるための考え方や行動の仕方を学ぶことができます。</li> </ul>		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
青少年リーダー育成各種事業参加者数(宿泊体験+僕らの楽校+通学合宿)	11人	14人	120人
<p>○状況：前年度と比較して、3人増加しましたが、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染症の影響で1事業しか実施できなかったためです。</p> <p>○主な事務事業：青少年宿泊体験事業</p>			

行政評価体系コード：8-26-1 担当課：文化・生涯学習課

施策名：歴史の継承と文化の振興 基本事業名：文化芸術にふれ合う機会の提供

基本事業の 目指す姿	多様な文化芸術にふれる機会が十分にあり、自ら文化芸術活動を行う市民が増加しています。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
文化芸術を鑑賞する機会が十分にあると思う市民の割合	48.7%	50.9%	75.0%
<p>○状況：前回調査時(令和元年度)と比べて2.2ポイント増加しましたが、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響により事業ができなかったことが原因と考えられます。</p> <p>○主な事務事業：美術展事業、文化講演会・コンサート等開催 自主文化協会補助</p>			
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
市の文化芸術事業への発表者としての参加者数	383人	456人	5,500人

<p>○状況：前年度と比較して、73人増加しましたが、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：美術展や芸術祭等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、ほぼ全ての事業が中止となったためです。</p> <p>○主な事務事業：文化趣味講座、姉妹都市文化交流</p>			
文化芸術活動をしている市民の割合	18.7%	12.8%	18.0%
<p>○状況：前回と比較して5.9ポイント減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染拡大で活動機会が減少したことによるものと思われます。</p> <p>○主な事務事業：文化趣味講座、文化団体連合会補助</p>			

行政評価体系コード：8-26-2 担当課：文化・生涯学習課

施策名：歴史の継承と文化の振興 基本事業名：文化施設の管理運営

基本事業の 目指す姿	身近に文化芸術にふれる施設、文化芸術活動を行う施設があり、安全快適に利用できます。		
成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
文化施設の利用者数	94,616人	85,476人	190,000人
<p>○状況：令和2年度と比較して9,140人減少し、目標値に対して低調です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の利用制限の影響により、利用者が減少したためです。</p> <p>○主な事務事業：総合市民センター管理運営事業 朝倉地域生涯学習センター管理運営事業 杷木地域生涯学習センター管理運営事業</p>			

行政評価体系コード：9-29-1 担当課：議会事務局

施策名：適切な事務の推進 基本事業名：円滑な議会運営支援と市民との共有化

基本事業の 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の議会に対する関心が高まります。</li> <li>・議会の情報が市民に広く伝わっています。</li> </ul>
---------------	---

成果指標名称	前年度(前回)数値	現状値(令和3年度)	目標値
議会傍聴者数(のべ数)	140人	191人	240人
<p>○状況：前年度と比較して51人増加しましたが、目標に対して低調です。</p> <p>○原因：新型コロナウイルス感染拡大防止のため傍聴自粛をお願いしたことが一因と考えられます。また、議会中継をインターネット配信していることで、自宅等にて視聴できるためと考えられます。</p> <p>○主な事務事業：本会議・委員会等運営事務</p>			

### 3 総合計画体系表

#### 分野 01 防災・減災、防犯、消費者保護

施策 01 防災・減災対策の推進

基本事業 01 消防体制の充実

02 地域防災力の強化

03 防災意識の向上

04 災害発生防止の対策

05 市の防災体制の整備

施策 02 交通安全・防犯対策の推進

基本事業 01 交通安全意識の啓発

02 交通安全施設の整備

03 防犯対策の推進

04 未成年者の非行・犯罪防止

05 消費者保護の推進

#### 分野 02 人権、協働、男女共同参画、コミュニティ

施策 03 市民協働のまちづくり

基本事業 01 地域コミュニティ活動の推進

02 市民活動の推進

03 協働によるまちづくり意識の醸成

施策 04 地域福祉の推進

基本事業 01 地域福祉活動の推進

施策 05 人権が尊重されたまちづくり

基本事業 01 教育・啓発の推進

02 人権・同和問題に関する相談・支援体制の充実

03 男女共同参画の推進

#### 分野 03 保健、福祉、医療

施策 06 健康づくりの推進

基本事業 01 生活習慣の改善

02 疾病の予防と健康管理

03 医療体制の充実

施策 07 高齢者福祉の推進

基本事業 01 健康・介護予防の推進

02 介護サービス・日常生活支援の充実

03 生きがいつくりと社会参加の推進

04 安心・安全な生活への仕組みづくり

施策 08 障がい者福祉の推進

基本事業 01 自立支援の促進

02 地域生活支援の基盤づくり

03 社会参加の促進と就労支援

04 療育サービスの充実

05 バリアフリーの推進

施策 09 社会保障の適正な運営

基本事業 01 国民健康保険制度の適正な運営

02 後期高齢者保険制度の適正な運営

03 介護保険制度の適正な運営

04 生活保護（世帯）への自立支援

分野 04 環境

施策 10 低炭素社会の構築

基本事業 01 地球温暖化対策の推進

施策 11 循環型社会の構築

基本事業 01 ごみ減量の推進

02 ごみの適正処理とリサイクルの推進

03 し尿の適正処理とリサイクルの推進

04 ごみの不適正処理の抑制

施策 12 自然共生社会の構築

基本事業 01 環境保全の啓発・推進

02 みどりの保全

施策 13 快適な生活環境の確保

基本事業 01 環境美化運動の推進

02 事業系公害対策の推進

03 家庭系公害対策の推進

04 水環境の保全

分野 05 農林業、商工業、観光

施策 14 農林業の振興

基本事業 01 安全・安心な食の生産

02 地域農林業を支える多彩な担い手の育成・確保

03 荒廃農地等の有効利用の促進

04 多様な農産物の生産による農業の振興

05 環境に配慮した農業等の推進

06 魅力ある新たな朝倉ブランドの開発

07 農業・農村の多面的機能の維持・向上

08 農林業基盤の整備

09 消費者との交流による農村地域の活性化

10 林業の振興

施策 15 商工業の振興

基本事業 01 経営安定の支援

02 企業誘致の推進

03 中小企業の振興

04 就業の場の創出

施策 16 観光の振興

基本事業 01 観光PRの充実

02 観光推進体制の充実

03 観光資源の充実

04 観光施設の充実

分野 06 都市基盤（道路、交通、上下水道、  
住宅・住環境、景観、公園・緑化）

施策 17 交通環境の充実

- 基本事業 01 公共交通の確保・維持・改善  
02 公共交通の利用環境の改善

施策 18 道路の整備

- 基本事業 01 生活道路の整備・維持管理  
02 基幹道路の整備  
03 橋梁の維持管理  
04 浸水対策と河川整備

施策 19 住環境の整備

- 基本事業 01 移住・定住の促進  
02 公営住宅の整備  
03 公園の整備・管理の充実

施策 20 市街地の整備

- 基本事業 01 中心市街地の活性化  
02 市街地内の適正な土地利用の推進

施策 21 上水道の整備

- 基本事業 01 安全な水道水の供給  
02 水道水の安定的な供給  
03 健全な上水道事業経営の推進

施策 22 下水道の整備

- 基本事業 01 公共下水道事業等の推進  
02 合併処理浄化槽の推進  
03 施設の適切な維持管理

分野 07 子育て、教育

施策 23 子育て支援の充実

- 基本事業 01 子育て環境の充実  
02 母子保健の充実  
03 切れ目ない相談支援の実施  
04 児童虐待の防止  
05 子育ての経済的支援

施策 24 学校教育の充実

- 基本事業 01 確かな学力の育成  
02 豊かな心の育成  
03 健やかな体の育成  
04 開かれた学校づくり  
05 教育環境の充実  
06 教育支援の充実

分野 08 生涯学習、スポーツ、歴史・文化

施策 25 生涯学習・スポーツの振興

- 基本事業 01 市民主体の生涯学習推進体制の強化  
02 生涯学習・スポーツ情報の提供  
03 生涯学習・スポーツの機会の提供  
04 生涯学習・スポーツの活動拠点の管理運営  
05 子どもたちへの学習機会の提供

施策 26 歴史の継承と文化の振興

- 基本事業 01 文化芸術にふれ合う機会の提供  
02 文化施設の管理運営  
03 文化財の保護  
04 歴史・文化財の活用

分野 09 地方分権、行財政改革

施策 27 健全な財政運営

基本事業 01 適切な歳出管理

02 自主財源の確保

03 公共施設等の管理活用

施策 28 効率的な行政運営

基本事業 01 成果に基づく行政経営の推進

02 利便性の高い行政サービスの推進

03 職員の育成・資質向上と組織の整備

04 積極的な広聴と情報発信

施策 29 適切な事務の推進

基本事業 01 円滑な議会運営支援と市民との共有化

02 選挙事務の推進

03 監査事務の適正執行

04 適正な会計事務

05 保有情報の適切な管理